



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

この日本語版は、投資家様への便宜を図る目的で、正文の英語版より和訳したものです。
適宜、英語版をご参照ください。

アフリカ開発銀行グループ

変化をもたらす

投資家様向けプレゼンテーション

2026年2月

目次

▶ アフリカ開発銀行グループの概要

3

▶ アフリカ開発銀行の財務状況

25

▶ 資本市場における取組み

35

▶ 参考資料

46

財務諸表

47

サステナブルbond枠組み

49

アフリカ経済見通し

57

よくあるご質問

61



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

アフリカ開発銀行 グループの概要



アフリカを代表する開発金融機関

AfDBグループ：共通の目標を掲げ、法的かつ財政的に独立した3つの機関で構成



アフリカ開発銀行 (AfDB)

- 1964年設立
- 81の加盟国
- 授権資本：3,290億米ドル
- 資本市場から資金を調達
- バーゼルⅡに基づくリスクウェイト0%
- バーゼルⅢに基づくレベル1



アフリカ開発基金 (ADF)

- 1972年設立、譲許的融資を行う機関
- 域外加盟国29カ国（含アンゴラ）と域内加盟国5カ国（アルジェリア、ボツワナ、エジプト、モロッコ、南アフリカ）が出資
- 引受額：約500億米ドル
- 低所得国が対象
- 3年ごとに資金増強



ナイジェリア信託基金 (NTF)

- ナイジェリアにより1976年に設立
- 低所得国が対象
- 2028年まで存続
- 資金総額：2億4,200万米ドル

ガバナンスと監督

総務会

- 最高意思決定機関
- AfDB加盟国の財務大臣および国際協力大臣で構成

理事会

- 総務会が選出する20名の常任理事で構成（アビジャンに常駐）
- アフリカ開発銀行の一般業務を監督

総務会、理事会のいずれの決議も、3分の2の多数、または、加盟国が要請する場合は70%の多数が必要

アフリカにおける貧困削減と生活環境改善に注力

(2025年12月31日時点)

アフリカの開発のため、60年にわたるパートナーシップ

アフリカ

ナイジェリア	8.771%	コンゴ共	0.387%
エジプト	6.212%	ウガンダ	0.387%
アルジェリア	5.159%	ナミビア	0.338%
南アフリカ	4.981%	マラウイ	0.309%
モロッコ	4.738%	南スーダン	0.289%
コートジボワール	3.870%	ブルンジ	0.208%
ガーナ	2.235%	ニジェール	0.205%
リビア	2.130%	リベリア	0.196%
ジンバブエ	1.715%	マリ	0.174%
コンゴ民	1.611%	ルワンダ	0.138%
エチオピア	1.535%	ガンビア	0.124%
チュニジア	1.427%	エスワティニ	0.111%
ケニア	1.265%	シエラレオネ	0.106%
ザンビア	1.170%	スーダン	0.094%
アンゴラ	1.134%	レソト	0.092%
カメルーン	1.032%	赤道ギニア	0.064%
セネガル	0.941%	サントメプリンシペ	0.062%
タンザニア	0.856%	チャド	0.060%
ボツワナ	0.761%	カーボベルデ	0.056%
ベナン	0.708%	モーリタニア	0.053%
トーゴ	0.694%	中央アフリカ	0.037%
マダガスカル	0.647%	エリトリア	0.031%
モーリシャス	0.637%	ソマリア	0.029%
モザンビーク	0.594%	セーシェル	0.022%
ガボン	0.446%	ジブチ	0.008%
ブルキナファソ	0.415%	コモロ	0.007%
ギニア	0.405%	ギニアビサウ	0.007%

欧州

ドイツ	3.997%
フランス	3.600%
イタリア	2.327%
英国	1.787%
スウェーデン	1.507%
スイス	1.406%
ノルウェー	1.130%
デンマーク	1.123%
スペイン	1.016%
オランダ	0.846%
アイルランド	0.788%
ベルギー	0.615%
フィンランド	0.469%
オーストリア	0.428%
ポルトガル	0.231%
ルクセンブルク	0.199%

中東

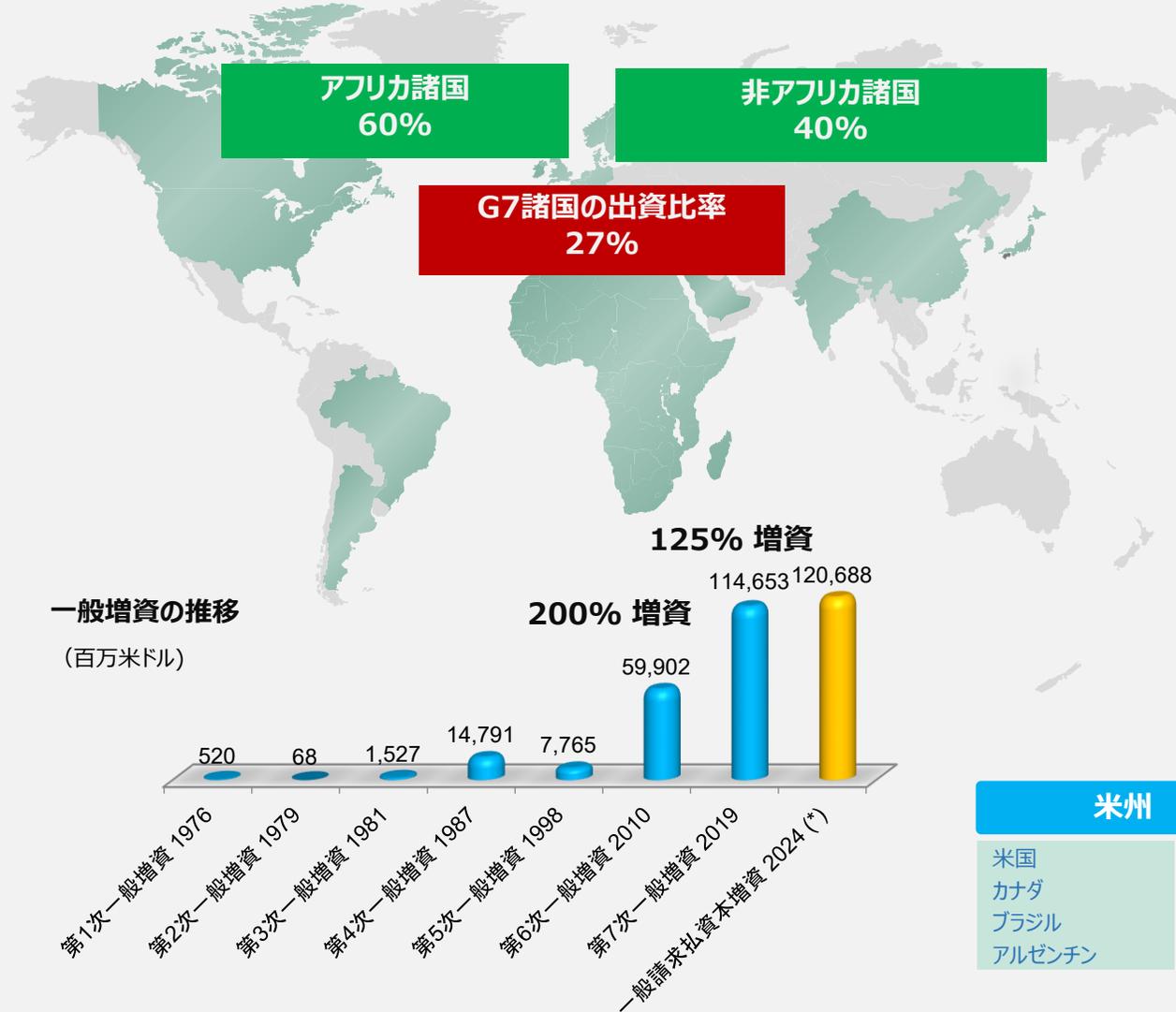
クウェート	0.428%
トルコ	0.380%
サウジアラビア	0.186%

米州

米国	6.352%
カナダ	3.691%
ブラジル	0.143%
アルゼンチン	0.072%

アジア

日本	5.279%
中国	1.236%
韓国	0.461%
インド	0.276%



注：各国のデータはAfDBへの出資比率を表す。

(*) AfDBの融資能力を維持し、格付け機関フィッチの要件を満たすために、総務会が2024年5月に承認した一般請求払資本増資。

(2025年12月31日時点)

ニーズに応じた効果的なパートナー

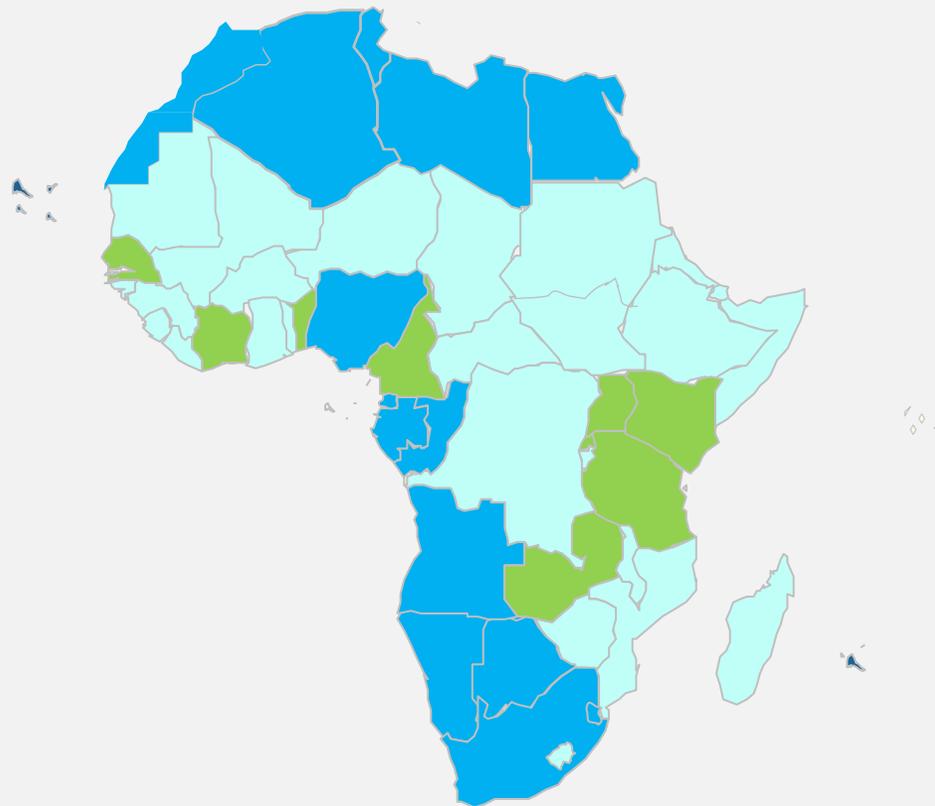
AfDBソブリン事業

AfDBの融資適格となる中所得国17カ国

基準：

- 1人当たりGNI (国民総所得)
- 国の信用力

健全なマクロ経済状況と持続可能な債務プロファイル
を有する国々に対する選択的な金融サービスの提供



AfDB・ADFの両方の融資に適格

9カ国

ブレンド国6カ国：カメルーン、コートジボワール、ケニア、セネガル、タンザニア、ザンビア

改訂された2014年信用ポリシーによって
AfDBの資金源にアクセスできるADF加盟
国3カ国：ベナン、ルワンダ、ウガンダ

ADF譲許的融資

ADFのみの融資・無償資金供与の適格となる
低所得国28カ国

民間セクター事業

付加価値と開発成果が見込まれる有望企業や多国籍プロジェクト

- 直接融資
- クレジットライン
- 資本参加
- 保証

付加価値及び開発成果の評価：主要指標

- GDP成長率 (%)
- 一人当たりGDP (2010年米ドル基準) *
- アフリカのガバナンスに関するモ・イブラヒム指標**
- 税収及び税外収入
- ジェンダー格差指標
- 生産効率
- 水関連ショックに対する強靱性 (指標)
- 難民及び国内避難民の人数

エンクレーブ融資

ADFの譲許的融資のみに適格な諸国で実施される自律的で輸出志向型のプロジェクトに対する融資

*米ドル建てGDPの数値は2010年基準で自国通貨から換算。データは2010年価格で表示。1990年、2000年及びその他の年は2010年価格で表示。

**各国のガバナンスのパフォーマンスの統計的評価。

ニーズに応じた効果的なパートナー

アフリカの開発アジェンダの中心にあるHigh 5s



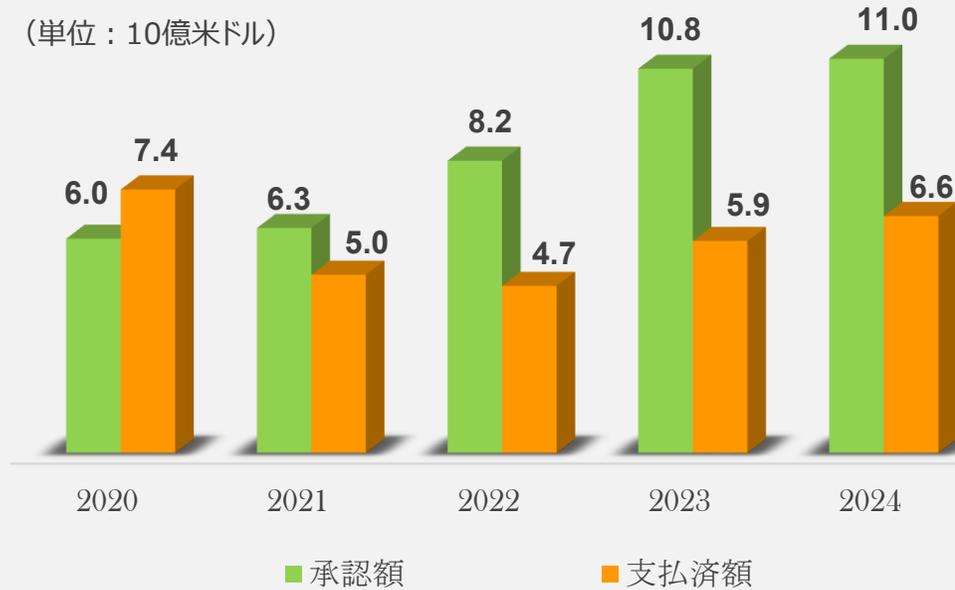
ハイファイブズ (High 5s) は、アフリカが国連のSDGsの90%近くを達成することに寄与し、また、アフリカ連合 (AU) のアジェンダ2063と本質的にリンクしている

包摂的 (インクルーシブ) なグリーン成長を加速させ、豊かで強靱な経済を推進するために、AfDBの10カ年戦略を遂行

オペレーションを通じアフリカの未来へ投資

AfDBグループの融資承認額と支払済額

(単位：10億米ドル)



注:

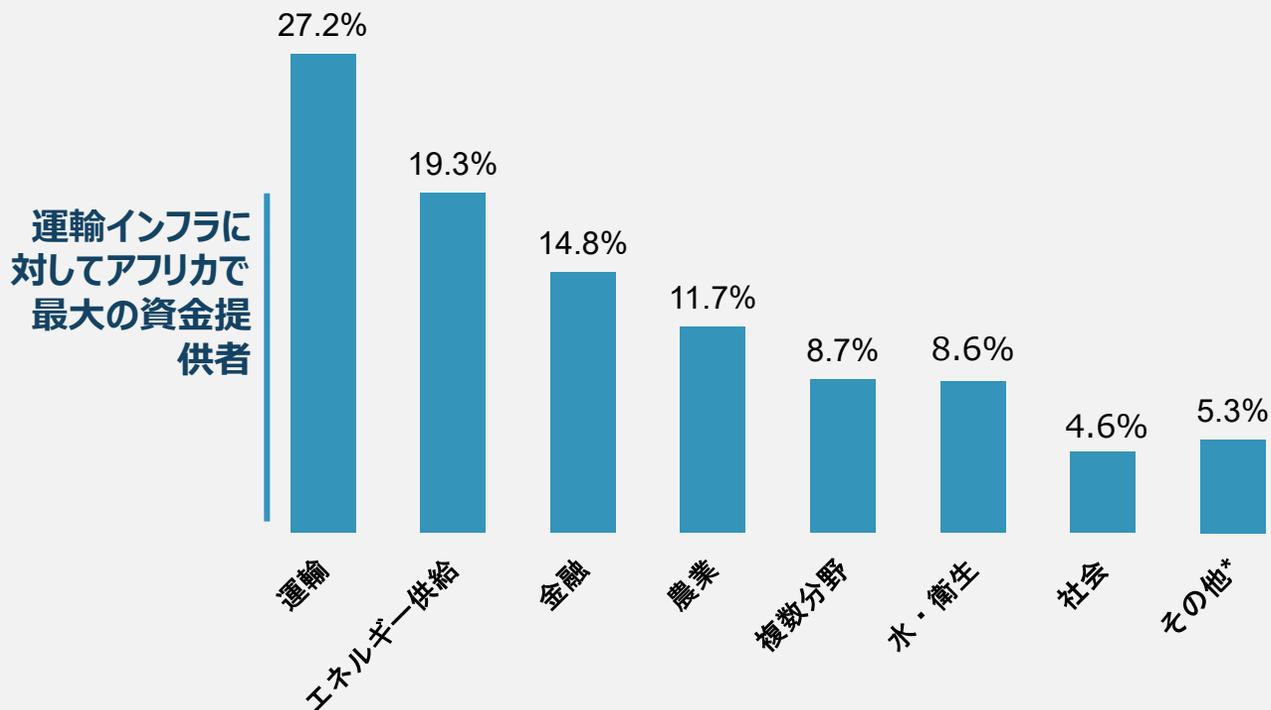
融資、無償資金、出資、緊急オペレーション、重債務貧困国の債務救済、融資配分の見直し、保証、ポスト紛争国ファシリティを含む



適切な投資と政策により、アフリカにおけるSDGs目標は達成可能

私たちが望むアフリカを実現するためのさらなる貢献

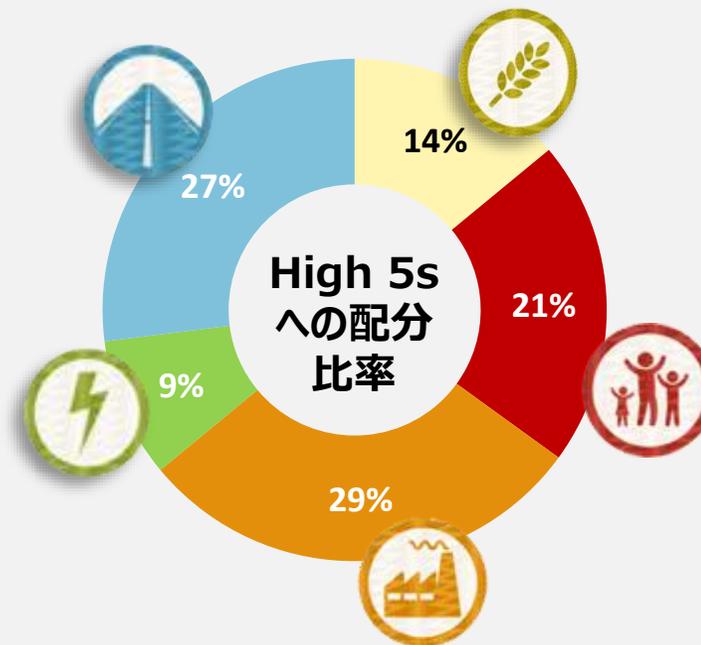
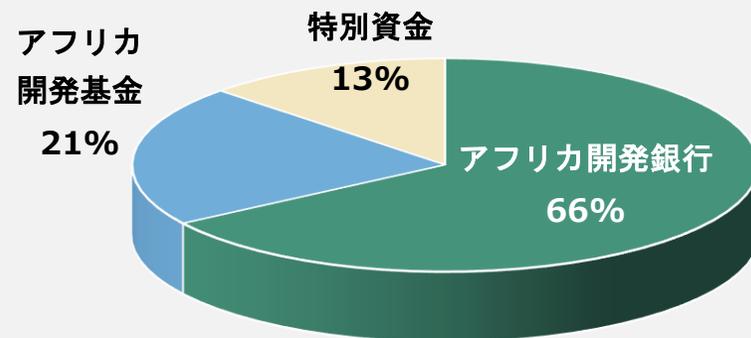
AfDBグループの640億米ドルのポートフォリオのセクター別分布



(2024年12月31日時点)

注: 「その他」には、工業、通信、環境、都市開発が含まれる

組織全体で貢献 – 2024年の承認額



全ての人のためのエネルギーで包摂的（インクルーシブ）な成長を促進

エネルギーは人間の生活に必要不可欠

アフリカ大陸に必要な、信頼でき、手の届く価格の、環境に優しい（グリーンな）エネルギーへのユニバーサル・アクセス

アフリカ大陸全体で電力が大幅に不足

アフリカのエネルギー使用は世界で最少

- 2022年には58%の家庭が電力にアクセス（2018年は54%）
- 10億人近くがグリーン調理へのアクセスがない
- 世界で最も電化率の低い国のうち20カ国がアフリカ
- 2022年の1人あたり年間エネルギー消費量は200kWh（米国では12,700kWh、ヨーロッパでは6,500kWh）

電力需要は2030年までに3倍になると推計

- 6億人が電氣を利用できない
- 停電により、年間GDPの0.2-4%が喪失
- 90%の小学校で電力不足
- 病院・救急サービスへの障害

よりクリーンで、二酸化炭素排出の少ないエネルギーへの強い需要

世界の太陽光発電ポテンシャルの60%以上がアフリカに

豊富な再生可能エネルギーの潜在力

- 太陽光10TW
 - 水力発電350GW
 - 風力110GW
 - 地熱15GW
- (現在の設備容量46GW)

再生可能エネルギーに年間700億米ドルのインフラ投資が必要

革新的技術とファイナンスの仕組みが必要



電力グリッドを連結しアクセスを拡大

AfDBの投資優先事項

- 電気やクリーン調理ソリューション、国民および生産部門向けのサービスなど、安価で信頼できる近代的エネルギーへのユニバーサル・アクセスをアフリカ諸国で加速させる。
- 社会的、経済的、環境的に持続可能なエネルギー・セクターを開発する。
- 低炭素開発の道筋を確立し、グリーン成長を推進すると同時にエネルギー安全保障を強化する。
- 電力セクターと公益事業の持続可能性を強化し、エネルギー効率を向上させる。
- 相互接続された大陸電力網の開発を支える強固な地域内および地域間の電力システムを構築することで、既存の電力プールを連結し、アフリカ単一電力市場の設立を促進する。

2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 45万人に新たに電力を供給
- 2,300kmの越境および国内送電線
- 1,000MWの新規電力容量が導入

アクセスを改善するための国内電力網の強化

エジプト - 1.1GWのスエズ風力発電プロジェクト

プロジェクト総額：11億米ドル / AfDB融資額：1億7,000万米ドル

承認：2024

エジプトにおける1.1GWのグリーンフィールド風力発電所とそれに関連する中・高電圧昇圧変電所の設計、建設、運転、保守。建設後は、エジプト最大の独立系風力発電事業者として国内の再生可能エネルギーの導入を後押しする。

期待される開発効果：

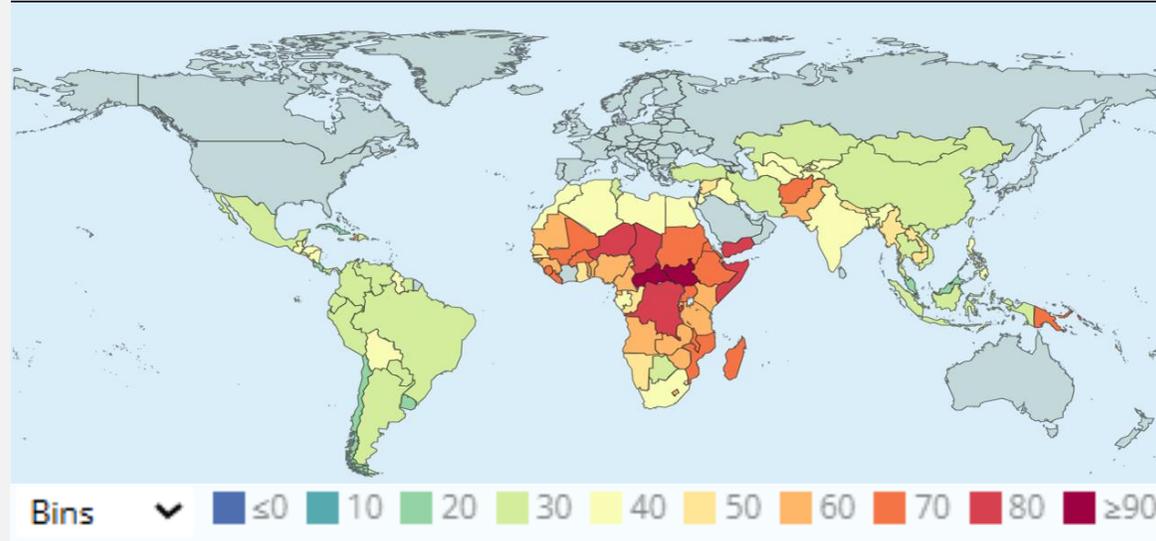
- 1.1GWの電力容量が導入
- 年間4,111GWhの再生可能エネルギー発電
- 年間171万トンのCO₂排出量が削減
- 100万世帯以上がクリーンで信頼できる安価なエネルギーの利用が可能に
- 1,740人の雇用創出

アフリカの気候変動アジェンダ

2030年までにパリ協定に基づく気候変動対策への国家コミットメントを達成するために、アフリカは約2兆8,000億米ドルの気候変動ファイナンスが必要

気候変動リスクは最も貧しく脆弱なコミュニティを脅かす

- 海面上昇、干ばつ・洪水の増加
- 農業の生産性、食料の安定供給の妨害
- 水・エネルギー安全保障への脅威
- 貧困状況の悪化
- ソブリン格付への影響



低リスク

高リスク

出所 : Climate Vulnerability index 2023 - Global Data Lab

世界で最も脆弱な10カ国のうち9カ国がアフリカ

アフリカの温室効果ガス排出量は世界全体の4%未満

世界の気候変動関連ファイナンスのうちアフリカ向けは3%未満

アフリカを異常気象から守る

- 効果的な早期警戒警報の予測・発出能力の向上
- 増加する気象上の脅威に対処するための技術革新の促進
- ガバナンス、効果的な政策と制度の強化
- 世界の気候変動関連ファイナンスの結集

成長・開発に向けた計画により、気候変動への強靭性を構築

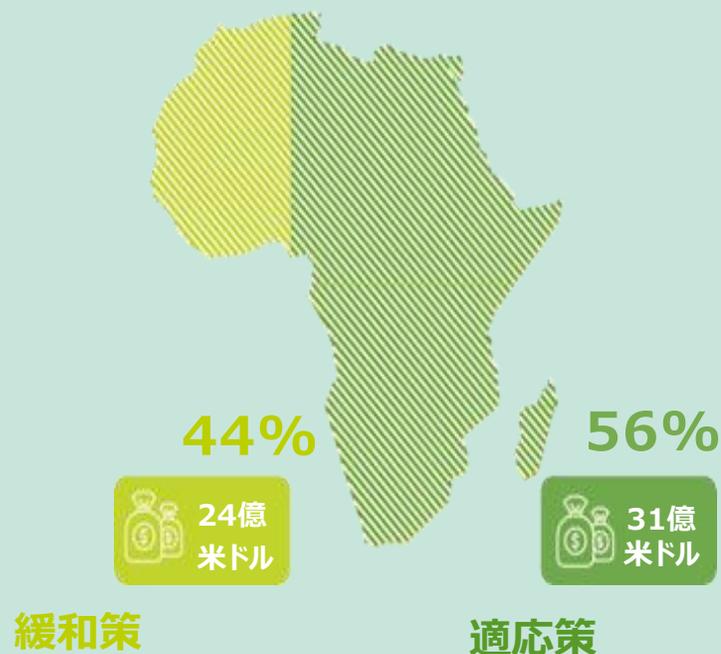
気候変動にスマートに対応する開発へのファイナンス

2024年のAfDBの事業の98%で気候変動が主流

国が決定する貢献（NDC: Nationally Determined Contributions）を実行するためにアフリカは約2兆8,000億米ドルが必要

2024年の気候変動ファイナンス

55億米ドル = 全AfDB承認額の49%



アフリカ適応加速プログラム (AAAP)

- ・ グローバル適応センター（GCA : Global Center on Adaptation）とのパートナーシップ
- ・ 2025年までにアフリカの適応を支援するため、250億米ドルの拠出をコミット
- ・ 累計195億米ドルを動員するなど、大きな進展
- ・ AfDBはGCAのアフリカ事務所を開設

アフリカNDCハブ—技術支援を提供し、NDC目標を達成するためのパートナーシップ・プラットフォーム

- ・ アフリカ54カ国がパリ協定を批准し、49カ国がNDCsを更新、9カ国が長期的な低炭素・気候変動対応戦略（LTS）を提出
- ・ ガボン、リベリア、レソト、ボツワナ、モザンビーク、ウガンダにおけるLTSの継続支援
- ・ ブルキナファソ、エチオピア、ザンビアにおけるNDCの実行支援



- ・ ADF気候アクションウィンドウ（CAW）は、アフリカの低所得37カ国で気候変動対策を拡大するために40億～130億米ドルの動員を目指している。
- ・ 2024年には4億4,200万米ドル、80件の適応プロジェクトが進行中。

アフリカは気候変動対策を支援する膨大な新規投資機会を提供している

サヘル地域における太陽光の活用



「砂漠に電力（Desert to Power: DtP）イニシアティブ」 - 経済的、社会的、環境的に脆弱なサヘル地域を変革し強靱性をもたらす

新しい方法

- 革新的なブレンド・ファイナンス・パッケージ
- 金融・専門機関、ディベロッパー、政治イニシアティブとの協力
- 新技術の活用



2030年までに
10GWの太陽光発電容量を有する世界最大の太陽光ゾーンを創設

2億5,000万人が電気の利用が可能に

チャド - ガッシとラマジの太陽光発電DtP

プロジェクト総額：4,110万ユーロ / ADF融資額：1,350万ユーロ
承認：2024

ラマジ変電所とガッシ変電所の近くで、発電容量15MWpの太陽光発電所2カ所（合計30MWp）の設計、建設、運転を行うプロジェクト。2カ所の発電所は、61GWhのクリーンで信頼性の高い電力を発電し、年間4万9,000トンのCO₂排出量を削減する。

パートナー機関



協調融資機関



主な資金動員手段



2024-2025年に承認された「砂漠に電力」プロジェクト

エリトリア	12MWのミニグリッドプロジェクト - テセネイ・ケレケベトおよびバレンツ
チャド	ガッシとラマジの太陽光発電DtP
ブルキナファソ	デドゥグの18MWの太陽光発電

環境に優しい電力へのアクセスを拡大

再生可能エネルギーへ民間セクターを誘致

移住を減少し、紛争を予防

貧困削減、食料安全保障の向上

農業及びその他経済活動の促進

女性参画・雇用を強化

アフリカは再生可能エネルギーの宝庫であり、気候変動対策としてグリーンなソリューションを提供。

農業を開発の最前線へ



アフリカの課題は世界的な関心事項

人口

- アフリカの人口の20%が栄養不足
- 栄養不足によりアフリカのGDPの11%が損なわれている
- 5歳未満の子供の34%が発育阻害
- 2020-2022年に2,800万人が食料不安に直面

経済

- チョコレートは年間1,000億米ドル以上の収入を生み出すが…
- …アフリカはその2%しか享受していない
- 世界において耕作可能であるが未開墾の土地の60%がアフリカに存在
- 農業貿易は年間750億米ドルの赤字

環境

アフリカの農業の95%は天水農業であるため、干ばつの影響を受けやすい

天候のショックにより、GDPの2%が損なわれる

包括的目標



2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 2,700万人が食料安全保障の改善による恩恵を享受
- 48万人の農民がマイクロ灌漑、肥料、気候変動に強い種子などの改良された投入物を使用
- 2,900件のアグリビジネス支援

アフリカの富たる農業の変革は、経済成長、貧困撲滅、食料安全保障の要

農業バリューチェーンの上位へ



2024年の承認額：25億米ドル
アフリカの農業を、世界的に競争力があり、包摂的（インクルーシブ）かつビジネス志向のセクターに変革



タンザニア - より良い明日を築く：若手アグリビジネス・イニシアティブ

プロジェクト総額：2億4,100万米ドル / AfDB融資額：1億3,000万米ドル
承認：2024

タンザニアの若者の雇用創出および食料・栄養安全保障の改善を目的としたプロジェクト。具体的には、優先的な農業バリューチェーンに沿って、若い男女のビジネス機会と適切な雇用の創出を目指す。

期待される開発効果：

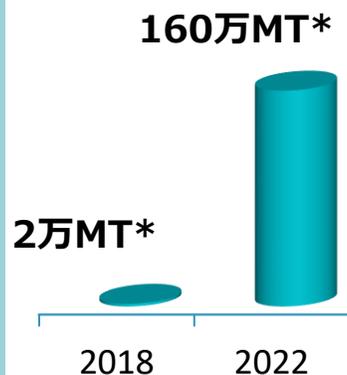
- ▶ 若者が率いるアグリビジネス企業6,000社が設立
- ▶ 1万1,000人の若者が起業家精神とアグリビジネスのスキルを向上させ、改良された気候スマートな投入物を採用し、金融へのアクセスを得る
- ▶ 15万人の雇用創出
- ▶ 新たに3万8,000ヘクタールの灌漑用地が開発
- ▶ 700kmの農道網が建設

エチオピアにおける小麦の成功例

小麦輸入国から小麦輸出国への転換

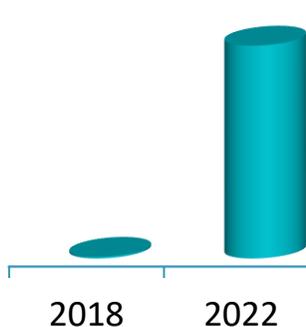
エチオピア、2022年に小麦自給自足を達成…

灌漑による小麦生産量が790%増加

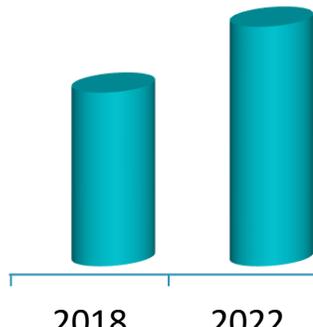


*MT=メトリックトン

小麦の灌漑地が1300%増加



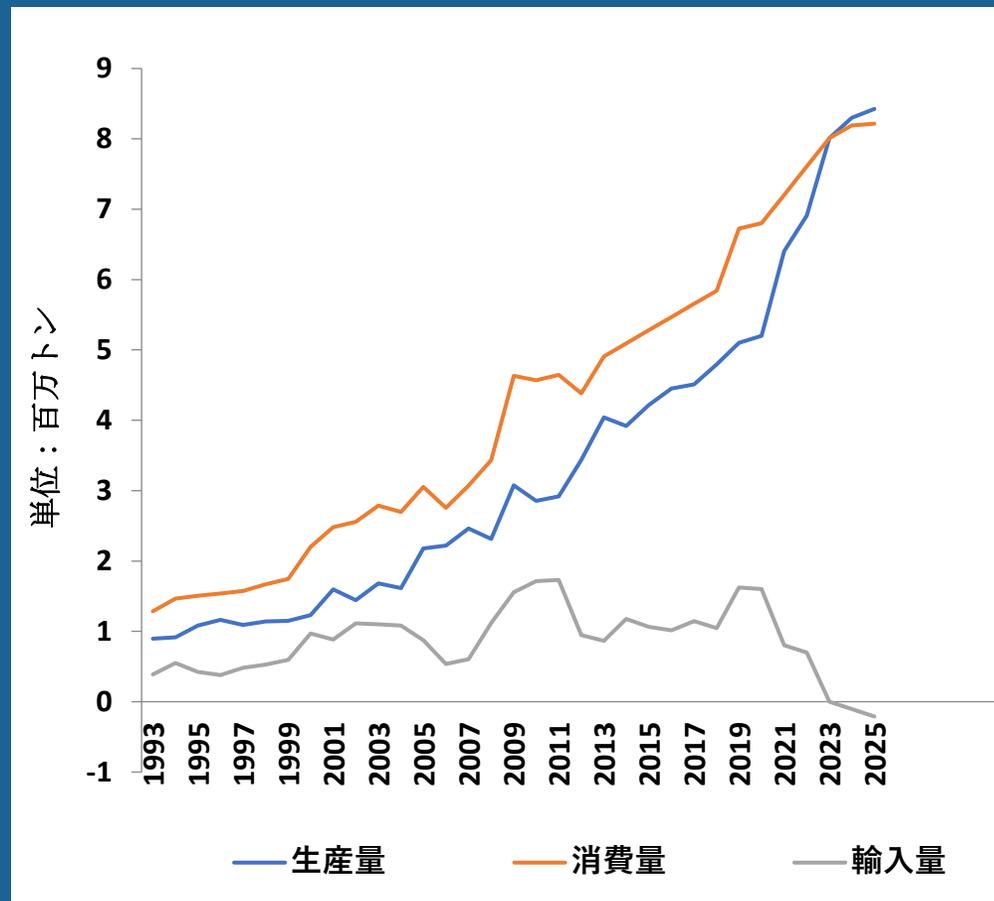
小麦の生産性が38%向上



Technologies for African Agricultural Transformation

AfDBの「アフリカ農業転換技術（Technologies for African Agricultural Transformation）（TAAT）」プログラムは、保証種子を10万トン以上配布することで灌漑低地での小麦栽培面積を2018年の5,000ヘクタール未満から2022年の65万ヘクタール以上へと大幅に拡大させ、エチオピアの成功に貢献。

…2023年からは小麦の輸出を開始



農業はアフリカの食糧供給の維持、SDG2への取り組みにおいて中心的な役割を果たしている

アフリカの製造業は雇用創出の原動力



地域間の結びつきや目標達成に向けた政策の強化は、工業化による成長を更に促進



グローバルな競争力を強化

*2019年時点

AfDBの優先分野と目標

- 特別加工区での農産物加工を開発
- 採掘資源の選鉱を支援
- アフリカのネットゼロ移行を支援
- 接続インフラ、デジタルおよびデータサービスに重点
- 医薬品・ワクチン製造セクターを支援
- 繊維セクターの開発

コモディティの輸出、工業製品の輸入

輸出の59%が
コモディティ



輸入の56%が
工業製品



輸出

輸入

■ 農作物 ■ 燃料・鉱業生産物 ■ 工業製品 ■ その他

過去10年で工業生産は倍増しているが、その3分の2は、アルジェリア、南アフリカ、ナイジェリア、エジプトでの生産による

アフリカのグローバルな競争力は向上



変革を推進してアフリカの富を守る



現地で加工し、経済多様化を進める

生産性向上

経済的価値の付加

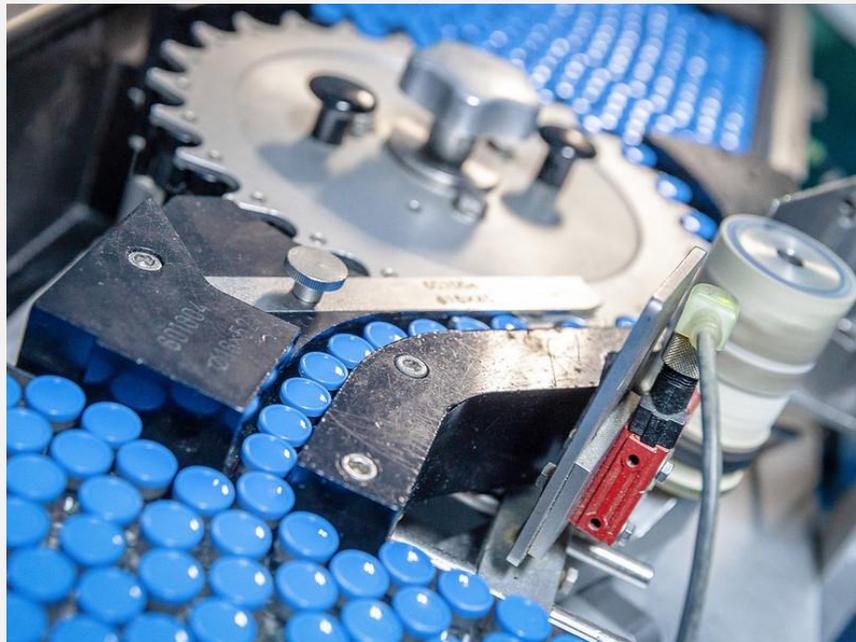
雇用創出

貿易収支改善

歳入増加

2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 2,100万人のITサービスへのアクセスが向上
- 1,200社が資金調達手段による支援を受け、うち600社は女性が経営



セネガル - ダカール・パスツール研究所 (IPD) - VAXSENプロジェクト
プロジェクト総額：2億5,300万米ドル / AfDB融資額：1,500万米ドル
承認：2024

AfDBの全体的な戦略の一環として、アフリカの医薬品セクターの能力強化、技術へのアクセス改善、アフリカでの持続可能かつ革新的な医薬品産業の発展というアフリカ医薬品技術財団の目的を補完するプロジェクト。アフリカの医薬品やワクチンの生産能力に貢献し、輸入依存の低減や、将来のパンデミックに対する備えと強靱性の強化を目指す。

期待される開発効果：

- 3億回分のワクチン生産能力
- 383人の直接雇用創出
- 1カ所のワクチン工場を建設・整備

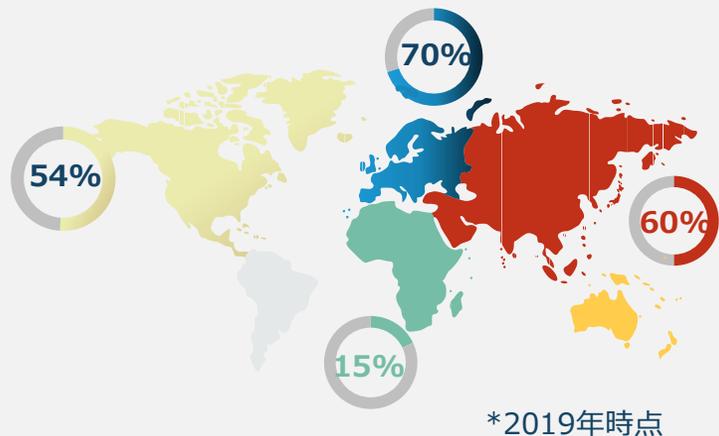
労働力と資本を生産性の高い経済活動にシフト



アフリカを連結し、開発を加速

アフリカ域内貿易と経済協力の新時代を先導

アフリカ域内貿易は低水準*



アフリカ域内貿易の障害

- インフラの未整備
- 非関税障壁
- 越境貿易コストが高い
- ビザ開放度が低い

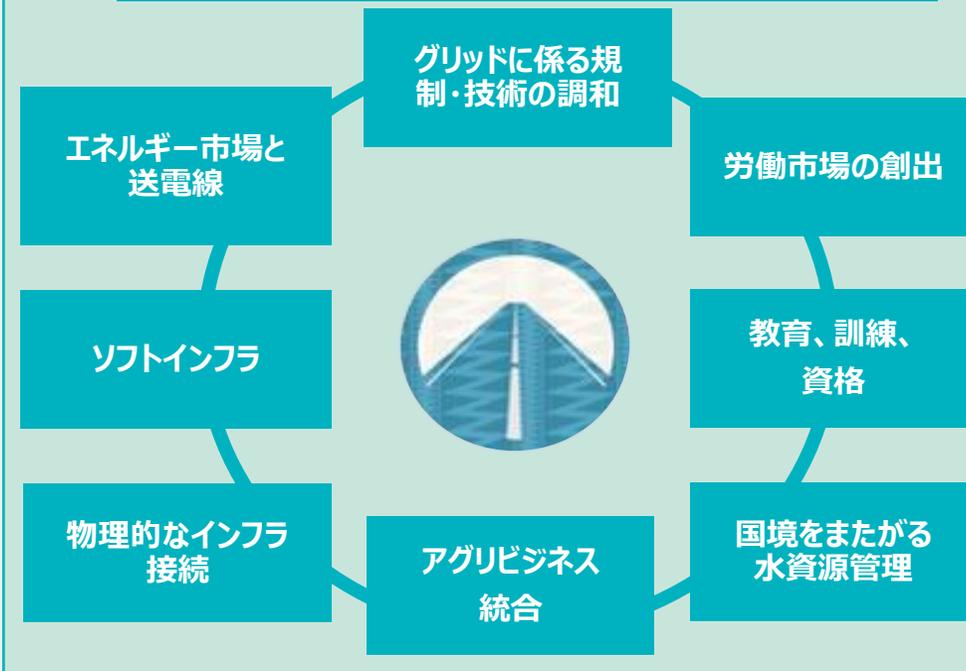
AfDBのビジョンと戦略

インフラ連結性の拡張

越境貿易・投資の推進

金融統合の深化

High 5s を通じた地域統合



地域統合に対する強い政治的意思



アフリカ大陸自由貿易協定 (AfCFTA) に調印 – 1つのマイルストーン

世界最大の自由貿易圏

- 54か国が署名 (30か国が批准)
- 自由貿易の拡大促進・非関税障壁の削減

2035年までに期待されるAfCFTAの成果

- アフリカ域内貿易が90%に
- 貿易が4,500億米ドル増加
- 平均所得が7%増加
- 3,000万人が貧困から脱出



国境をつなぎ、競争力を向上

エスワティニ - 道路インフラ改善プログラム フェーズI

プロジェクト総額：1億7,600万米ドル / AfDB融資額：1億4,100万米ドル
承認：2024

安全で効率的かつ費用対効果の高い道路インフラへの投資によって、都市部と農村部における国内および地域の接続性や移動性を改善することを目的としたプロジェクト。これにより、経済活動の機会、社会経済サービスや雇用へのアクセスが開かれ、最終的には貧困緩和や経済発展に貢献することが期待される。

期待される開発効果：

- 10万人の舗装道路へのアクセスが向上
- 106kmの気候変動に強い道路が建設
- 輸送コストが平均50%減少
- 150人の雇用創出
- エスワティニと南アフリカおよびモザンビーク間の貿易量が5%増加

2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 360万人がより良い交通サービスにアクセス
- 1,000kmの国境を越える国道の建設または修復



貿易・輸送の機会を開き、外国投資の更なる誘致を図る



人口潜在力をチャンスに変える

現在のアフリカ

-  アフリカ人口の40%が貧困ライン以下で生活*
-  非農業労働人口の72%がインフォーマル（非正規）セクターに従事
-  若者の3分の1が無職
-  毎年1000万人が労働市場に参入

2030年までに…

-  世界で最も貧しい10カ国はアフリカの国
-  世界の貧困層の83%がアフリカ人
-  1億人の若者が無職
-  求職者の50%しか職に就けない

アフリカの労働力をうまく吸収することが、アフリカの人口ボーナスを生み出すカギとなる



AfDBの戦略

- 若者向けの就業機会を創出することにより、非正規移民の発生を減らす
- 第4次産業革命を活用し、科学技術分野で若者のスキルアップを図る
- 水・衛生へのアクセスの改善
- 保健システムの強化



人口の69%が安全な飲料水にアクセス可能

人口の33%が基本的な衛生サービスを利用可能

*1日2米ドル未満で生活

若年人口はアフリカ最大の財産

将来の課題に備える



ベナン - 農村地域の強靱性構築のための飲料水安全確保実現プログラム (PROSER MR)

プロジェクト総額：1億1,900万ユーロ / AfDB融資額：7,600万ユーロ
承認：2024

農村地域における安価で良質な飲料水利用の持続的改善に貢献するプログラム。具体的には、(i) 飲料水の供給、(ii) 水道水供給の持続可能性の確保、(iii) 公共上水道関係者の能力構築、(iv) ベナンの水インフラ会社の設立・運営を目指す。ベナンの11県のうち10県の農村地域に恩恵をもたらす。

期待される開発効果：

- 96万5,000人の住民が水道網の高密度化と世帯接続を通じてサービスを受ける
- 若者2,420人の直接雇用創出
- 1,940基の配水塔が設置され、飲料水供給システムに接続

2024年に完了したプロジェクトの開発インパクト

- 1,300万人がより良い保健サービスにアクセス。うち600万人が女性
- 350万人が水へ新たにアクセス、又はアクセス改善
- 35万人が衛生設備へ新たにアクセス、又はアクセス改善
- 22万人の直接雇用を支援



将来への備え



女性のエンパワーメントを推進

アフリカの女性の現状



アフリカの女性のためのアファーマティブ・ファイナンス・アクション (AFAWA) は女性中小企業支援のために2026年までに50億米ドルの資金確保を目指す

AFAWAポートフォリオの実績

- AFAWA設立以来25億米ドルを承認
- 女性経営中小企業に12億米ドルの融資を実行
- 40カ国の185金融機関と提携
- 1万8,200人の女性が金融にアクセス
- 2万4,000人の女性に研修を提供

女性起業家支援プログラム

- 10の女性ビジネス開発企業・団体の能力強化
- 26カ国において16,000人の女性にインパクト

AfDBグループのジェンダー戦略 2021- 2025



金融と市場へのアクセスを通じた女性のエンパワーメント



スキルアップを通じた女性の雇用と機会創出の促進



インフラを通じた女性の社会サービスへのアクセス向上

AfDBの事業における ジェンダー主流化をシステム化



2024年にすべてのソブリン事業が分類され、88%がジェンダー平等の成果を上げた



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

アフリカ開発銀行の 財務状況



財務情報の概要

(百万米ドル)	2021	2022	2023	2024	2025 June
資産	50,840	50,866	52,955	55,391	65,764
融資	28,135	27,542	29,545	30,896	33,635
投資	13,707	15,588	16,613	18,742	24,938
現金	4,623	3,767	1,856	1,121	1,336
借入金	35,151	32,278	33,242	34,434	43,649
資本	12,185	13,152	14,509	15,958	17,217
払込済資本*	7,774	8,267	9,123	9,633	10,507
ハイブリッドキャピタル	-	-	-	750	750
準備金	4,410	4,885	5,386	5,589	5,935
分配前所得	135	318	545	462	145
引受済資本	207,801	197,987	198,719	213,232	228,001

* 払込資本毎の為替調整後の金額を累積で純計

注: 報告通貨はIMFの特別引出権 (SDR: Special Drawing Rights)。データは期末時の為替レートで米ドルに換算したものの

SDR/USD: 1.39958 (2021); 1.33084 (2022); 1.34167 (2023); 1.30413 (2024); 1.37400 (2025 6月)



AfDBのAAA、開発の原動力



S&P Global Ratings

「安定的見通しは、AfDBがソブリンおよびノンソブリン・ポートフォリオの両方で融資を拡大すると我々が予想していることを示している。同行は優先債権者待遇の恩恵を受け、良好な資金調達および流動性プロフィールを維持する見通しである」

2024年8月

MOODY'S

「AfDBは、地域の融資機関の中でも最高水準と評価され得る強固なリスク管理体制を備えており、これにより、事業運営環境に関連する課題の緩和にも一層寄与している」

2025年10月

Fitch Ratings

「AfDBは『優れた』流動性バッファを持っており、ストレス下でも少なくとも1年間にわたり資本市場に頼ることなく債務を履行できるだけの流動性を保有するよう求める内部流動性ポリシー規則を遵守している」

2025年7月



Japan Credit Rating Agency, Ltd.

「AfDBは強固な自己資本と潤沢な流動性に支えられ、堅固な財務基盤を維持している」

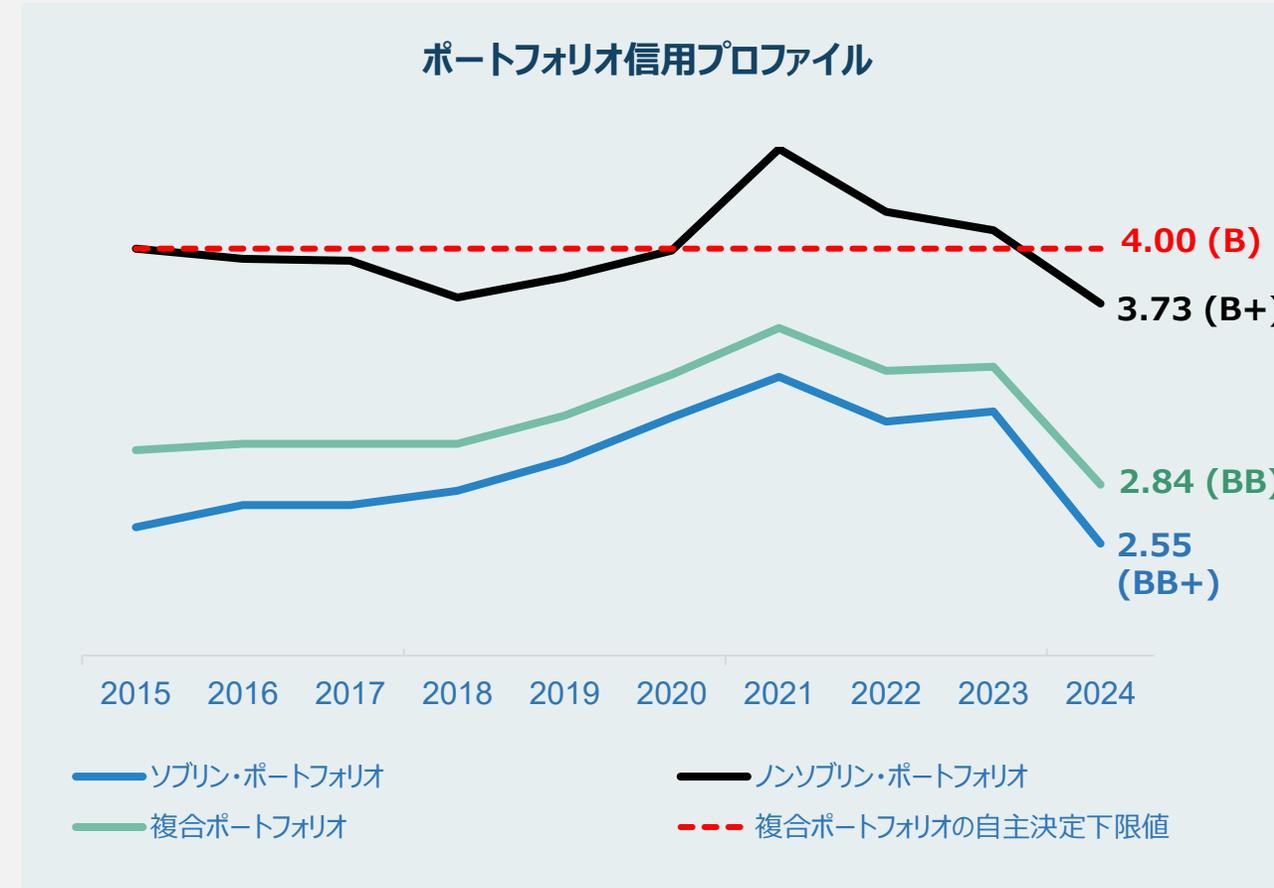
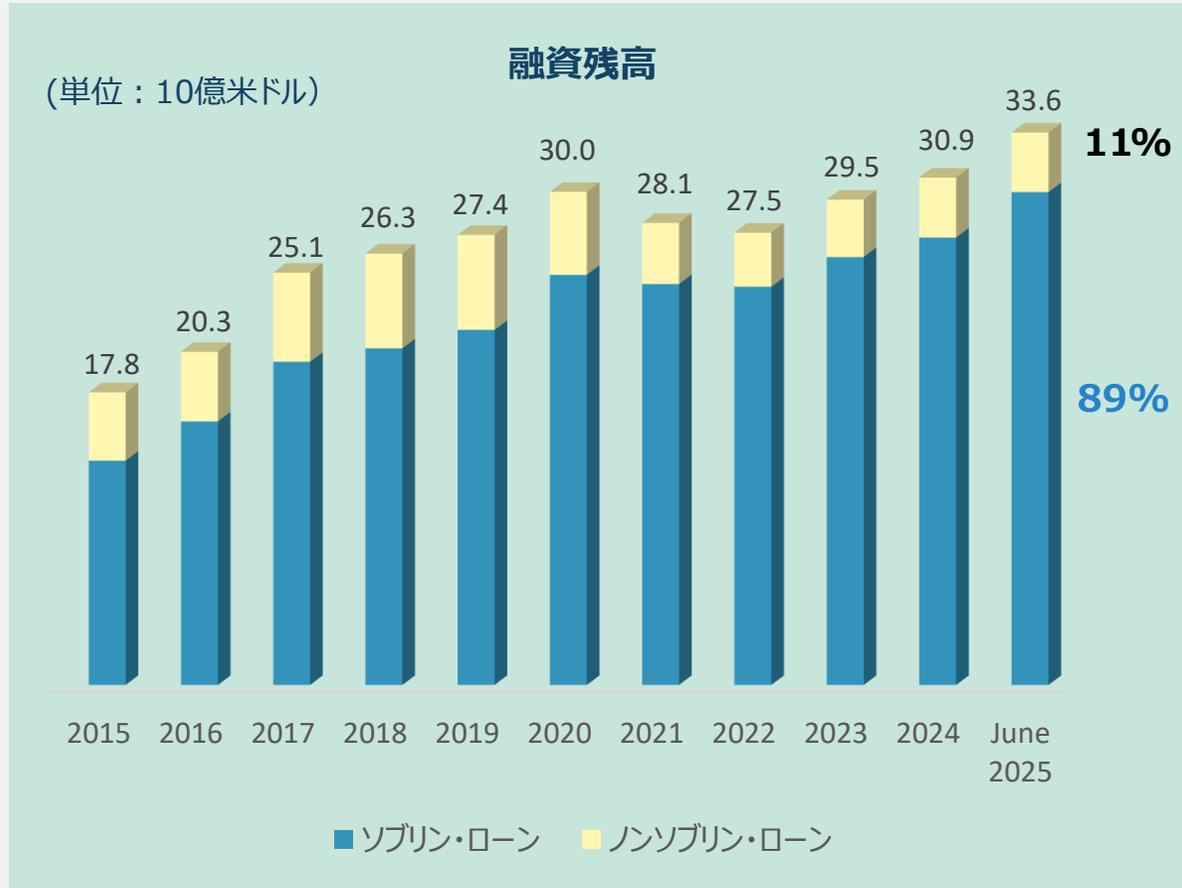
2026年1月

高格付に合致した慎重なリスク管理ポリシー



*米ドル、ユーロ、日本円、英ポンド、中国元で構成

アフリカの変革を支えるための融資



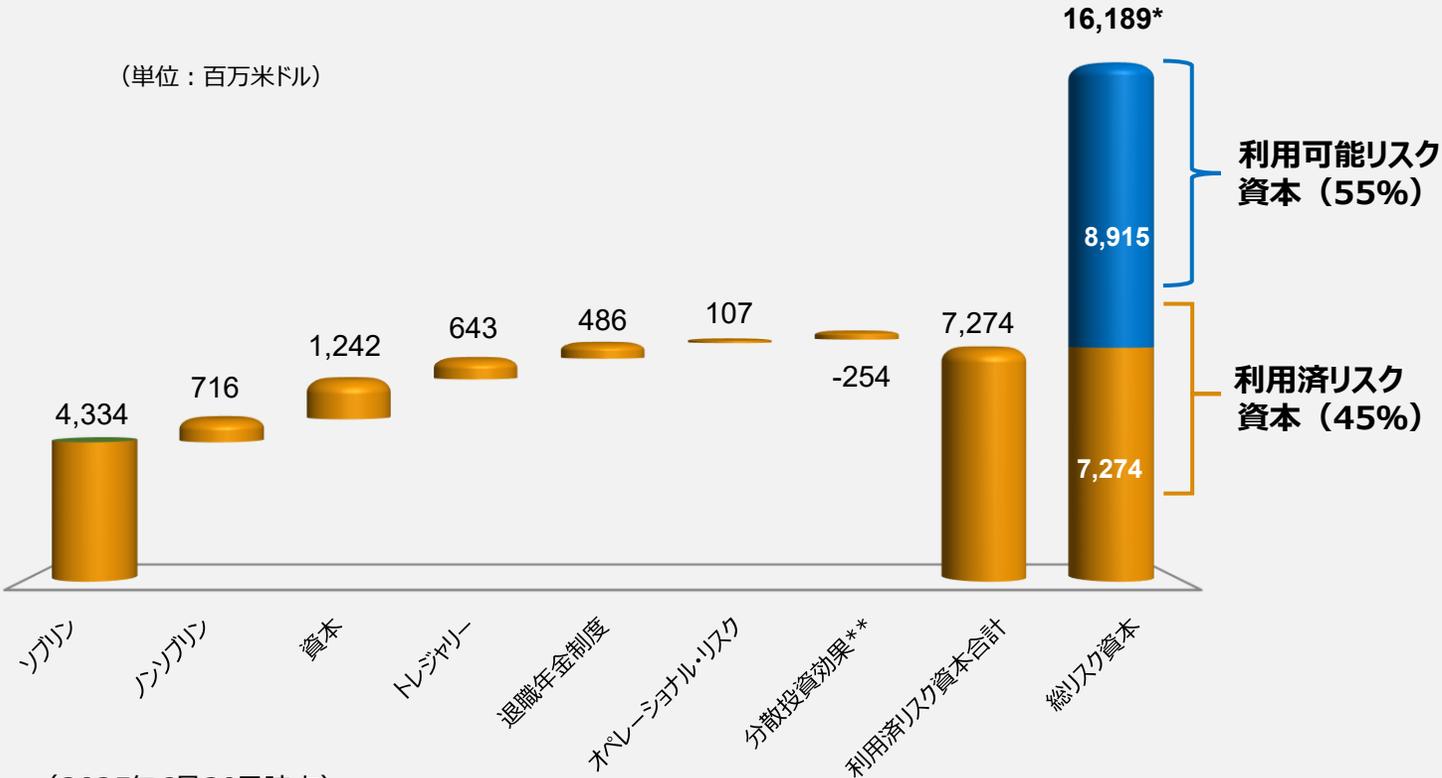
加重平均リスク格付け (WARR) が、AfDBの目標範囲である3 (BB) 及び4 (B) 以内であること

AfDBのリスク選好に沿ったリスク・プロフィールを維持・持続しつつ融資拡大

資本を活用してアフリカで効率的に事業を実施

各種エクスポージャー及びエクスポージャー額に牽引される AfDB のリスク資本利用状況

(単位：百万米ドル)



(2025年6月30日時点)

*株式投資・借入評価調整後総リスク資本

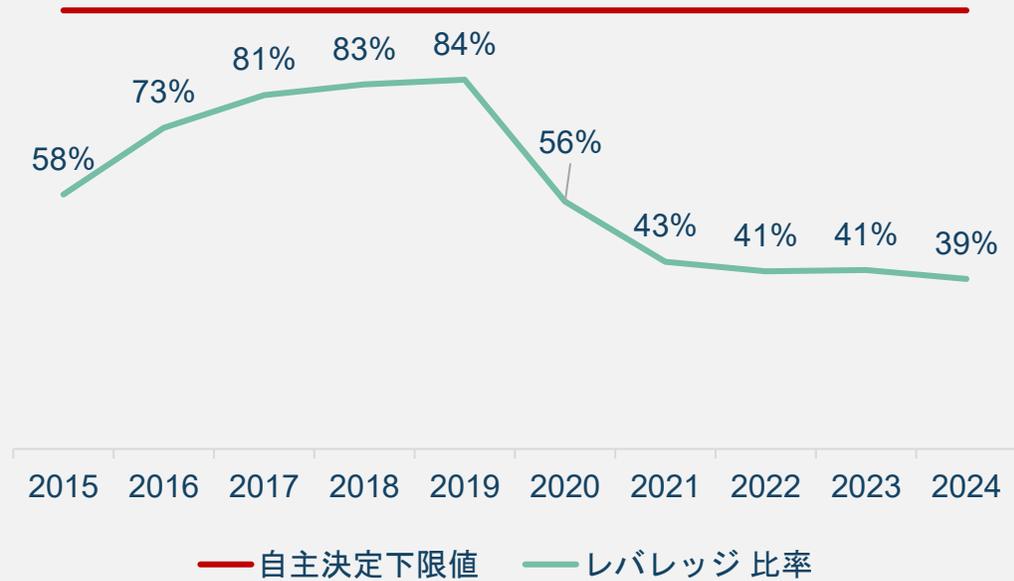
**分散投資効果はリスク間の相関関係から生じる

リスク資本 = 払込済資本 + 準備金 + 調整金

リスク資本利用率 = \sum [[エクスポージャー] * [リスク資本負担]] / 総リスク資本

レバレッジ = 負債 / 利用可能資本

利用可能資本 = \sum (払込済資本、準備金、格付がA-以上の非借入加盟国の請求払い資本)



— 自主決定下限値

— レバレッジ比率

High 5sのための資本の再配置における革新

AfDBの影響力を高めるためバランスシートの最適化

- 2025年4月に32億米ドルの第4次エクスポージャー交換アグリーメントを締結し、健全性レシオの向上を図るとともに、域内加盟国向けの追加的な融資能力を解放
- 南アフリカにおける「公正なエネルギー移行」を支援するため、英国外務・英連邦・開発省（FCDO）が10億米ドルの保証を提供 – 最初の融資は2025年末までに実行予定
- 南アフリカ開発銀行と共同で、民間セクターポートフォリオを対象とした20億米ドルの複数発行体CLOシンセティック証券化を実施 – 2026年第1四半期に発行予定

部分信用保証（PCG）により ソブリン向け融資へのアクセスを拡大

- トーゴ共和国が期間20年の商業信用枠にアクセスし、年金基金資金を呼び込むのを支援するため、ADFが2億ユーロのPCGを提供
- コートジボワール共和国向けの5億7,000万ユーロの信用枠（同国のサステナブルファイナンス枠組みに沿ったユーロおよびXOF建てトランシェで構成）から期間15年のサステナブル融資を動員するため、4億ユーロのPCGを提供
- タンザニア標準軌鉄道の第6フェーズを支援し、多様な投資家から22億米ドルを調達するため、8億米ドルのPCGを提供

顧客のニーズを満たすための資金調達

マンドートを受けたリードアレンジャーとして 大規模な変革プロジェクト向けの資金を確保

- 2024年にアレンジャーのマンドートを通じて7億5,000万米ドルを調達
- 輸送、エネルギー、産業セクターの資金調達のため3つの新たなマンドートを確保：
 - アイシャ風力発電プロジェクト：1億3,000万米ドル
 - ビショフトゥ国際空港：約50億米ドル
 - コートジボワールの大気浄化プロジェクト：4億ユーロ
- 90億米ドルを超える継続的な資金調達マンドート

ローン組成時に保険会社の能力を配分

- 保険ブローカーが主導する3,000万米ドルの国有輸送企業向け取引の取引組成時における保険参加
- 内部の国別融資限度額にかかわらず、AfDBが必要な融資額を承認できるようにするため、営利保険会社2社が取引を支援
- 2025年のパイプライン評価額は2億米ドル



グローバルバンキング & マーケッツ・アワード
アフリカ 2025



年間最優秀ソブリンシンジケート ローン取引

4億ユーロの保証を通じて動員されたセネガルの5億ユーロのサステナブルタームローンファシリティ



年間最優秀ESG融資取引

ルワンダの2億ユーロの保証付きESG融資

パートナーからの資金動員により開発業務にレバレッジをかける

信託基金の事例 8億9,000万米ドル

-  カナダ・AfDB気候ファンド
1億3,300万カナダドル
-  アフリカの持続可能エネルギー基金 (SEFA)
4億6,700万米ドル
-  アフリカ水ファシリティ
1億8,400万ユーロ
-  アフリカ民間セクター向け支援基金 (FAPA)
1億2,100万米ドル

共同融資協定の事例 99億米ドル

-  独立行政法人国際協力機構 (JICA)
40億米ドル
-  フランス開発庁 (AFD)
20億ユーロ
-  欧州委員会
10億ユーロ (承認済)
(承認済)
-  韓国アフリカ・エネルギー投資枠組
6億米ドル
-  中国人民銀行 (アフリカ共同成長基金 AGTF)
20億米ドル

覚書 (MOU) の事例

-  イスラム開発銀行
20億米ドル
-  OPEC基金
-  中国EXIM BANK
-  マイクロソフト

団結してより大きな
インパクトを生み出す

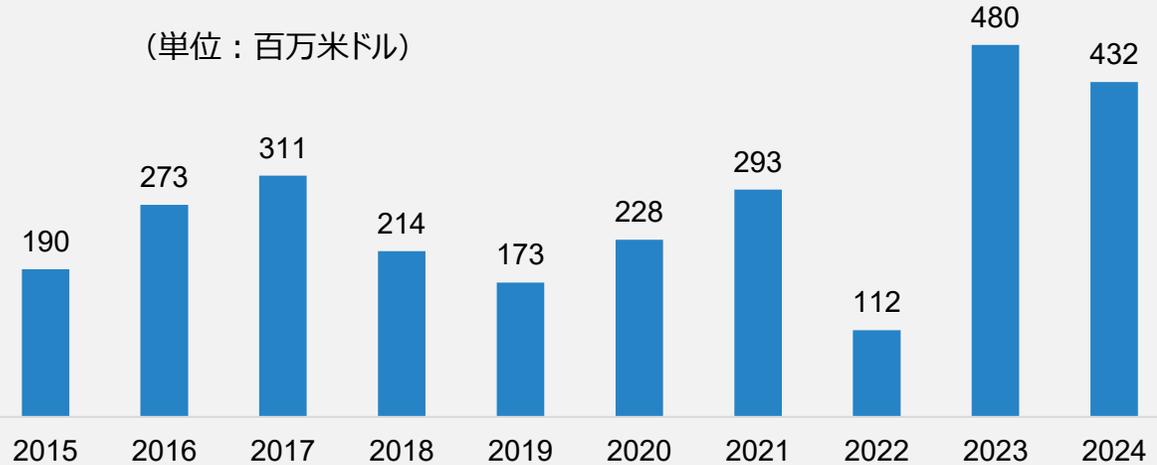
パートナー

- 二国間及び多国間の開発機関
- MDBs
- 国連機関
- 慈善団体及び財団
- 民間セクター

堅調な財務実績を持つ堅固な機関

配分可能な収入

(単位：百万米ドル)



配分可能な収入

AfDBの純利益から配分に利用可能な部分。配分可能な収入からまず準備金へと充当される

2015-2024年の利益配分



2024年の純利益移転案

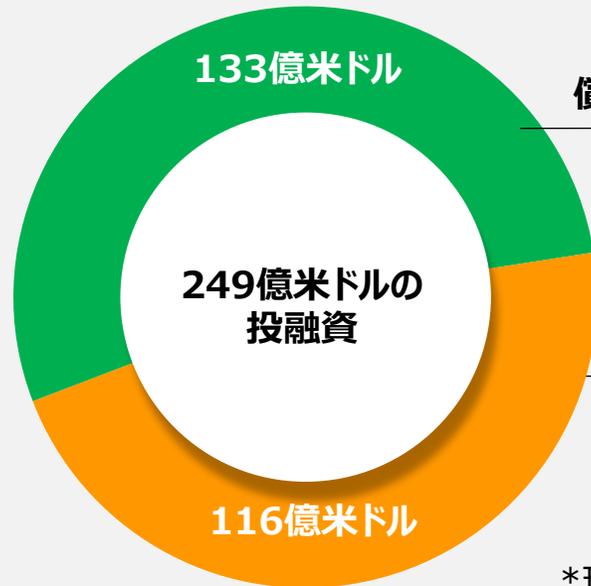
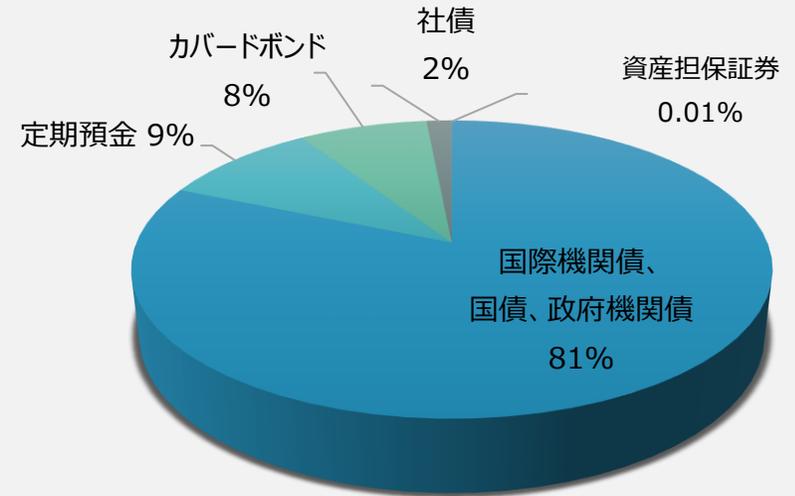


質の高い資産に投資されるAfDBの流動性



少なくとも1年間にわたり資本市場からの追加の資金調達が必要なく、債務償還及び融資実行の資金繰りが可能な流動性を保持

目標達成のための保守的なポートフォリオ構成



償却原価で保有

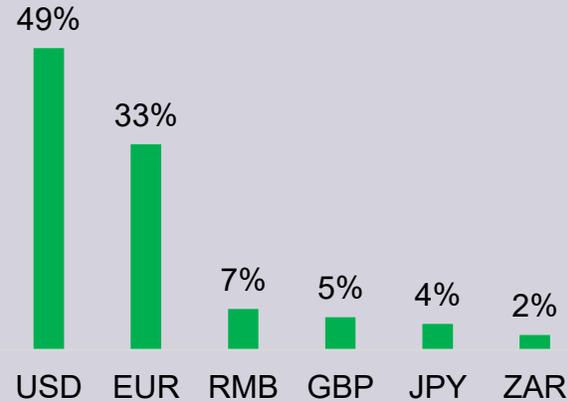
- 純金利マージンの安定化

トレーディング*

- 短期・中期のキャッシュフローニーズ

*現金とデリバティブを除く

多通貨ポートフォリオ



非常に質の高いポートフォリオ



(2025年6月30日時点)



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

資本市場における取組み



AAA格付をレバレッジにアフリカの開発ニーズを満たす

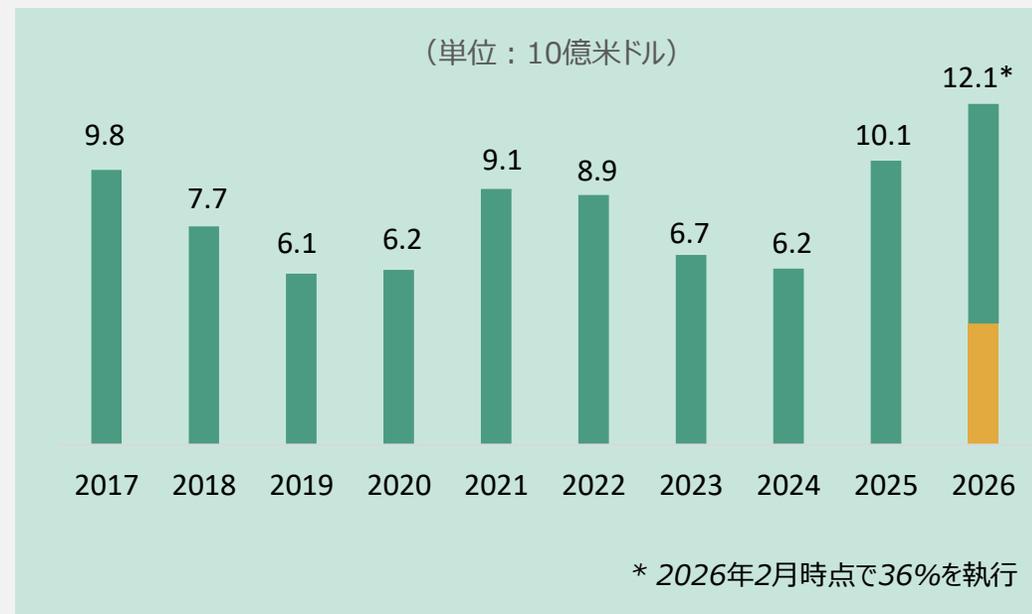
世界中の27の市場にまたがる多様な資金調達プロフィール



借入残高
436億米ドル

(2025年6月30日時点)

承認済み借入プログラム



流動性の高い
グローバルベンチマーク
債の発行において
高い実績を保持

グローバルな投資家層
の深化と拡大

ESG投資家の
ニーズに対応

アフリカの資本市場
の発展を支援

アフリカの利益のため、競争力の高い資金レベルを呼び込む

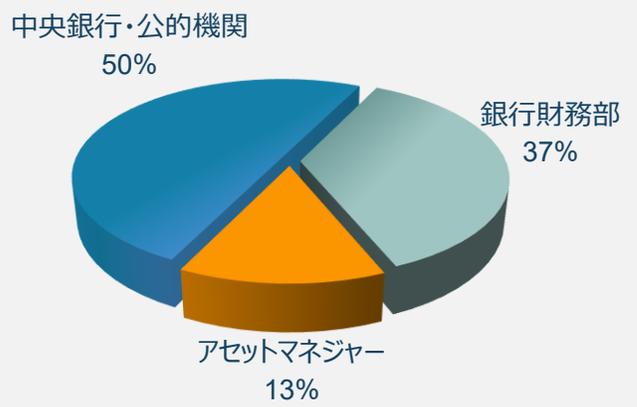
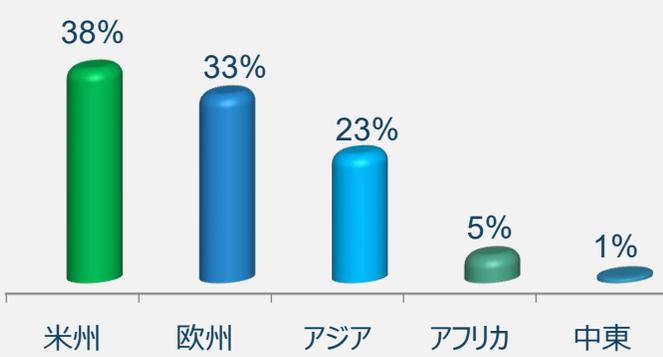
米ドルグローバルベンチマーク債、AfDB融資戦略の要

2025年3月	2025年6月	2025年6月	2026年1月	2026年3月
 20億米ドル 4.000% 5年グローバルベンチ マーク債 2030年3月償還 UST +14.3bps MS +43bps	 20億米ドル 3.875% 3年グローバルベンチ マーク債 2028年6月償還 UST +6.55bps MS +33bps	 10億米ドル 4.500% 10年グローバルベンチ マーク債 2035年6月償還 UST +11.7bps MS +64bps	 10億米ドル 4.125% 10年グローバルベンチ マーク債 2036年1月償還 UST +7.8bps MS +41bps	 20億米ドル 3.625% 5年グローバルベンチ マーク債 2031年3月償還 UST +4.5bps MS +32bps

単一ランシェによるAfDB債発行としては過去最大のオーダーブックを記録（応募額は発行額の7倍）

…深化・拡大しつつある投資家基盤

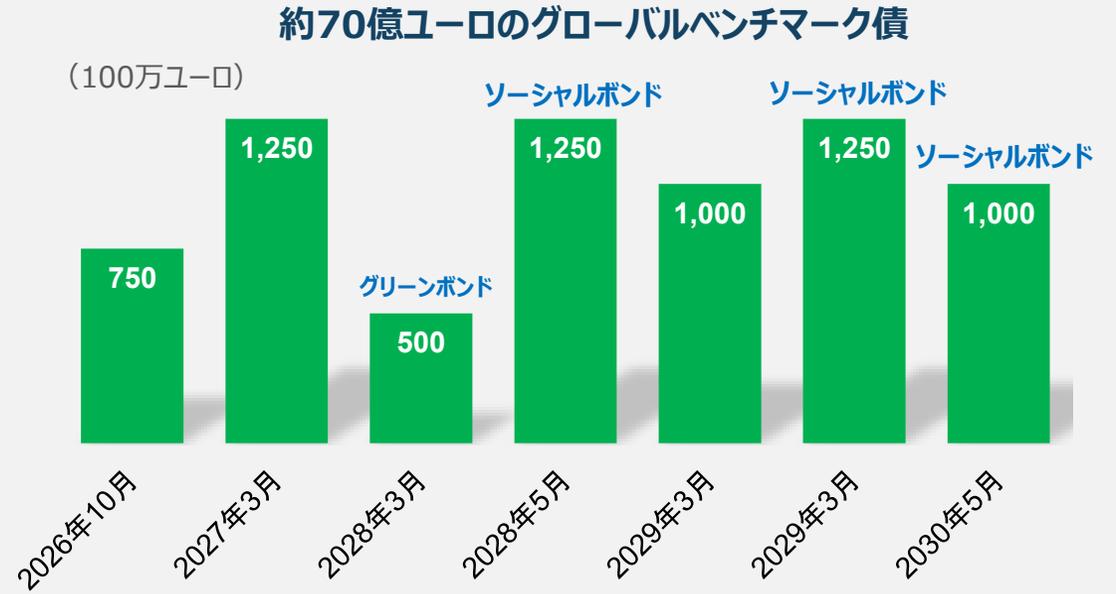
コンバインド・オーダーブックは270億米ドルを超え、327件のオーダーと26の新規投資家を獲得



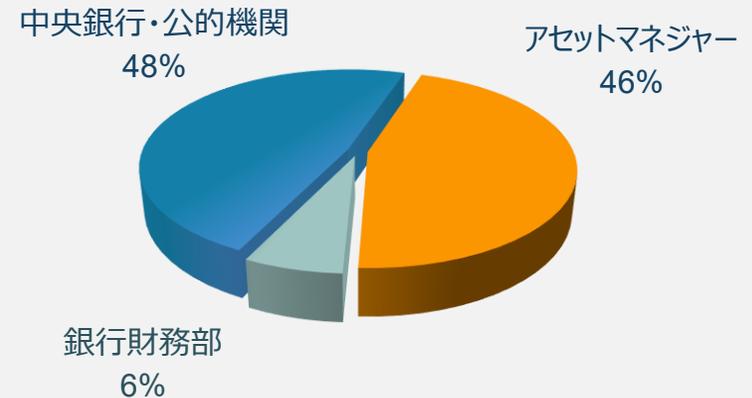
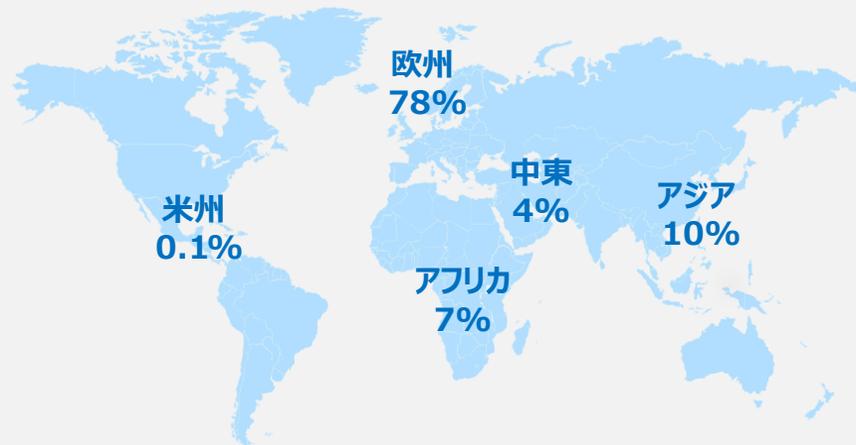
- 強固なファンダメンタルズとAAA格付
- 質の高いオーダーブック
- 質の高い入札結果
- 良好な流通市場パフォーマンス
- 強固な開発マンデート

ユーロ債発行：実績を拡大

2024年5月	2025年5月
 <p>5億ユーロ 2.875% 4年 グリーンベンチマーク債 2028年3月償還 Bund + 39.5bps OAT + 9.7bps ミッドスワップ + 2bps</p>	 <p>10億ユーロ 2.5% 5年 ソーシャルベンチマーク債 2030年5月償還 Bund + 37.2bps OAT - 2bps ミッドスワップ + 28bps</p>
<p>ユーロ初のグリーンボンド</p>	



コンバインド・オーダーブックは50億ユーロを超え、83件のオーダーと18の新規投資家を獲得
AfDBの新規投資家の分散

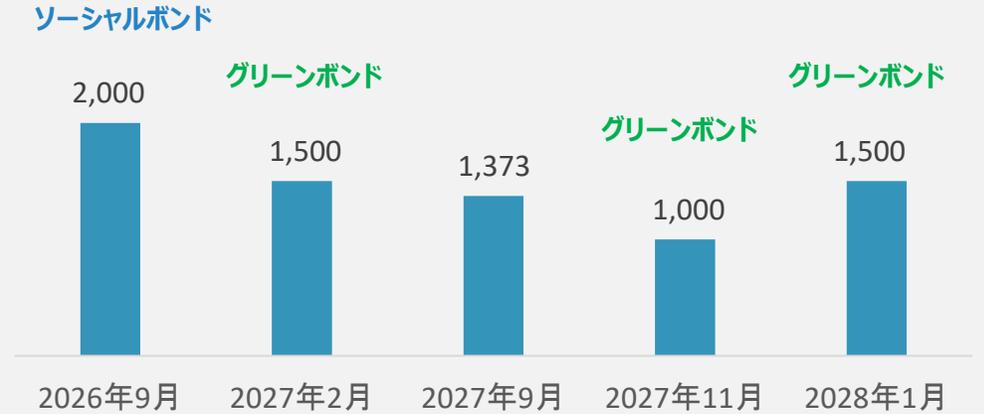


欧州市場における投資家層の拡大

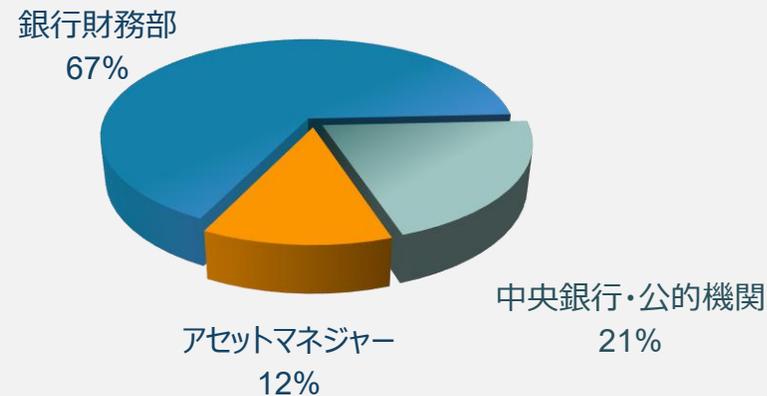
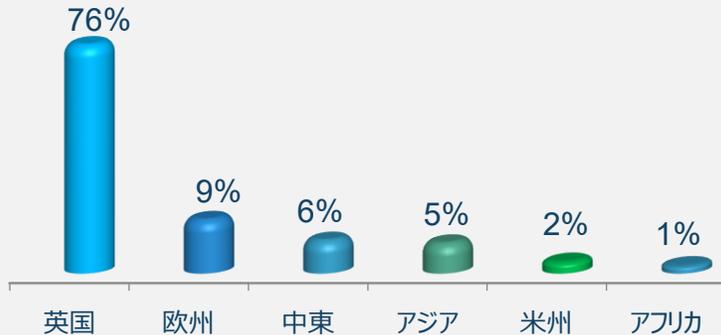
英ポンド建てベンチマーク債の発行残高



スウェーデン・クローナ（SEK）建て債券の償還期限別残高



コンバインド・オーダーブックは36億英ポンドを超え、77件のオーダーと12の新規投資家を獲得

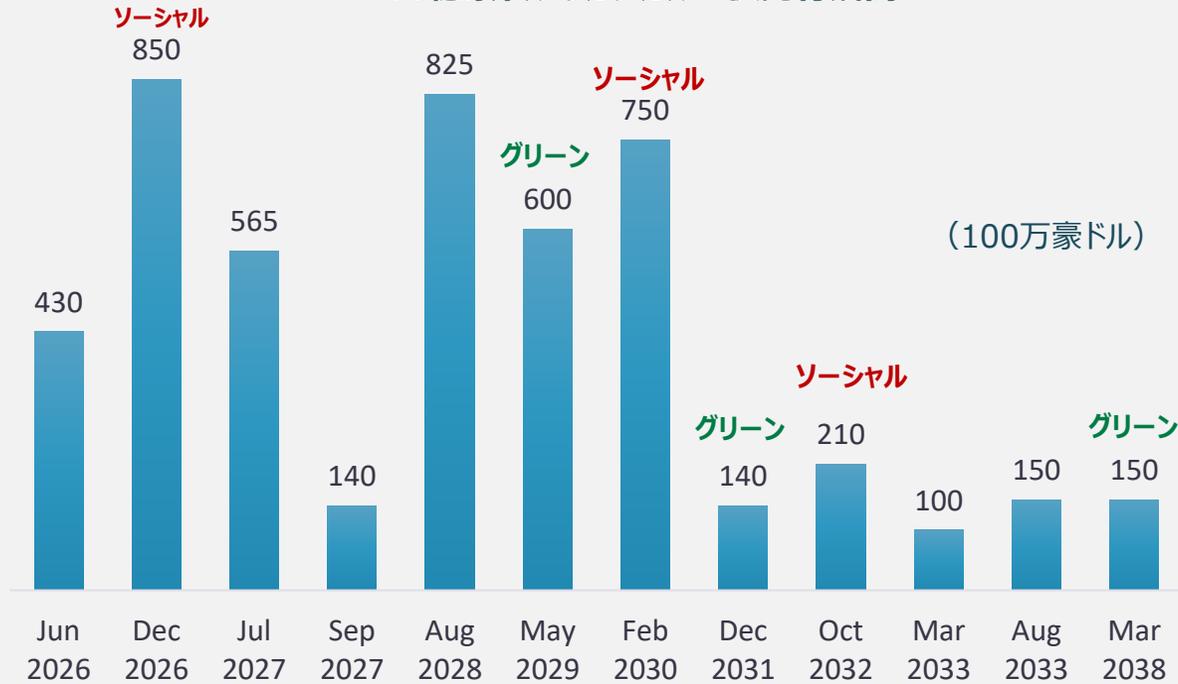


ノルウェー・クローネ（NOK）建てサステナブルボンドの発行残高



費用効率の適切な資金提供を求めて

60億豪ドルのカンガルー債発行残高



2025-2026年には17.5億豪ドルを発行

2025年2月	2025年9月	2026年1月
		
5億豪ドル ソーシャルカンガルー債 2030年2月償還	2億5,000万豪ドル ソーシャルカンガルー債 2030年2月償還 タップ発行	10億豪ドル ソーシャルカンガルー債 2031年1月償還
BBSW+50bps	BBSW+45bps	BBSW+40bps

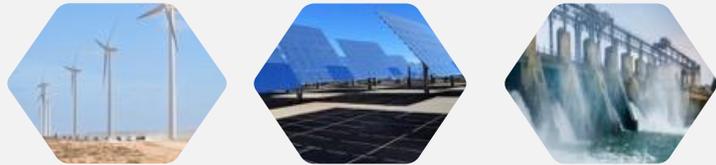
2025-2026年の私募債発行事例

2025年に19億米ドルの私募債及び
売債発行、
借入の18%



サステナブル・グリーン

2013年以降、44億米ドルのグリーンボンドを発行



社会的責任投資家

アファーマティブIM、アライアンス・バーンスタイン、アムンディ、AP2、AP3、AP4、AP7、APG、ブラックロック、ブラウン・アドバイザリー、カリフォルニア州教職員退職年金基金、カルバートIM、シカゴ市、ノルウェー地方金融公社、ノルデアIM、PGGM、ピクテAM、プラクセス・インパクト基金、SEB AM、ソニー銀行、ストアブランド、Syntus Achmea、大樹生命、TIAA-CREF、トリウムAM、チューリッヒ保険

適格なグリーンプロジェクトカテゴリー

- 再生可能エネルギー
- 持続可能なモビリティ
- エネルギー効率
- 生物天然資源と土地利用の環境的に持続可能な管理
- 持続可能な上下水道管理

360万トンのCO₂排出削減へのAfDBグリーンボンドポートフォリオによる貢献（2024年12月時点）

実施国	グリーンプロジェクト事例
ナイジェリア	ヨベ州環境・気候変動対策プロジェクト
ケニア	送電網整備プロジェクト
カーボベルデ	カベオリカ風力発電プロジェクト
南アフリカ	レッドストーン100MW 集光型太陽光発電プロジェクト
チュニジア	気候レジリエンス構築のための処理済み廃水水質改善プロジェクト

ソーシャルボンドによる包摂的（インクルーシブ）な成長へのインパクトあるファイナンス



サステナブルボンド
枠組み初の
ソーシャルボンド発行

MDBの中で最大のソーシャルボンド発行体（2024年12月時点）

貧困削減のための具体的活動

- 手頃な価格の基本インフラ
- 必要不可欠なサービスへのアクセス
- 食料安全保障と持続可能な食料システム
- 雇用創出と中小企業金融やマイクロファイナンスを含めた社会経済危機に起因する失業の防止・緩和を目的としたプログラム
- 社会経済的向上とエンパワーメント

実施国	ソーシャルプロジェクト事例
コートジボワール	経済・社会改革支援プログラム - フェーズIII
モロッコ	社会的保護向上支援プログラム
ナイジェリア	エキティ州ナレッジゾーンプロジェクト
チュニジア	雇用創出を通じたビジネス競争力と国民のエンパワーメントのための支援プログラム
タンザニア	タンザニア農業開発銀行 フェーズII

https://www.afdb.org/sites/default/files/2025/04/11/social_bonds_impact_reporting_december_2024.pdf

High 5sと結びついたテーマ債

アフリカの人々の生活を変える上で不可欠なAfDBの開発優先事項に関連したテーマ債

私募・売出債により
ESG投資家のニーズに対応

魅力的な資金調達
レベルで、全体のコストを軽減

調達資金は関連する
High 5分野への融資
にベストエフォート方式
で配分

人々の生活の質の向上

アフリカの電化

工業化

地域統合

食料増産

2016年以降33
億米ドルのHigh 5
テーマ債を発行

最近のHigh 5テーマ債



1億5,000万ガーナ・セディ
2028年1月償還
「アフリカの電化」



2億8,000万ザンビア・ク
ワチャ 2029年1月償還
「食料増産」



1億5,000万日本円
2044年3月償還
「地域統合」



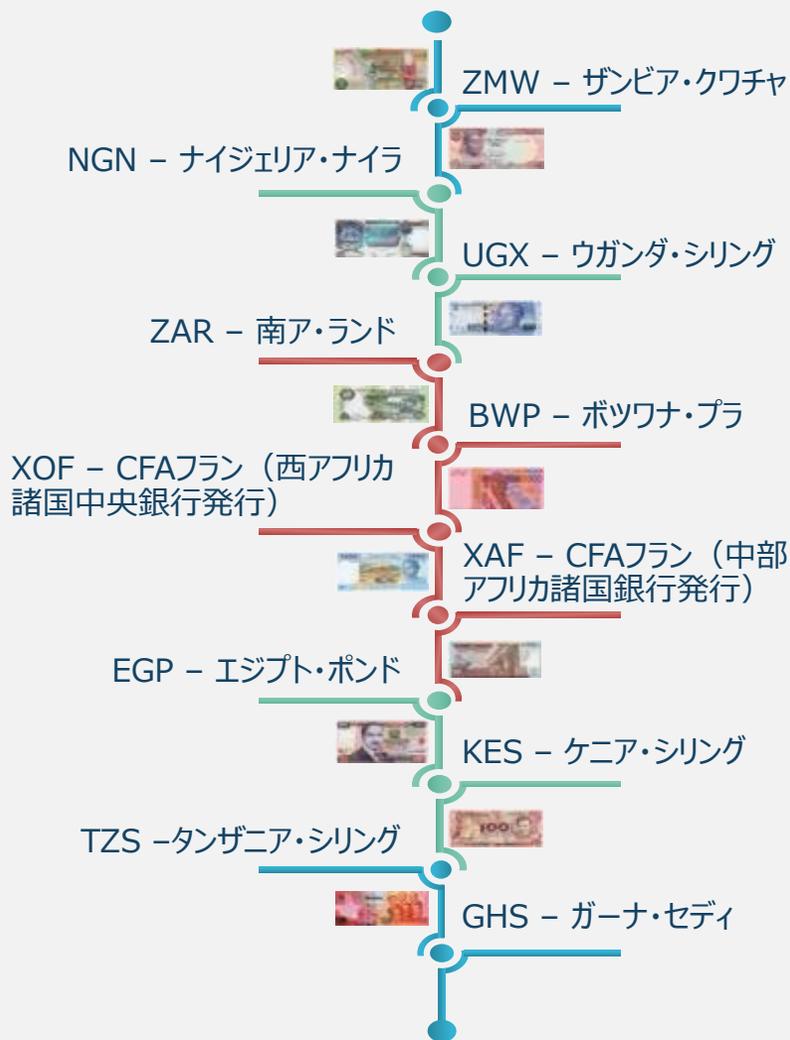
5億5,000ブラジル・レア
ル 2034年6月償還
「工業化」



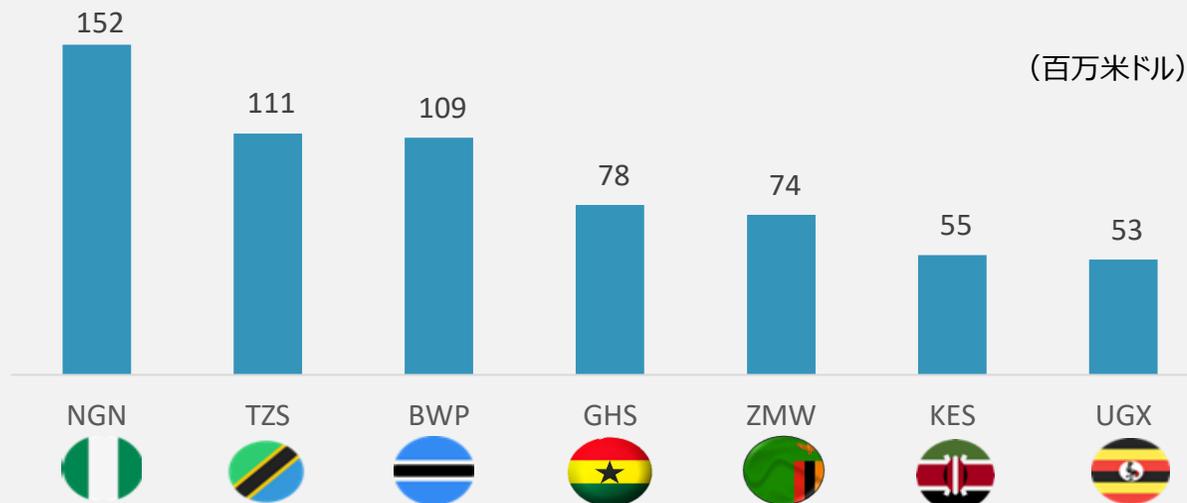
2,500万米ドル 2030年5
月償還
「人々の生活の質の向上」

アフリカの資本市場のポテンシャルを十分に活用

貸付通貨を拡大



2015-2026年に発行されたアフリカの通貨建て取引

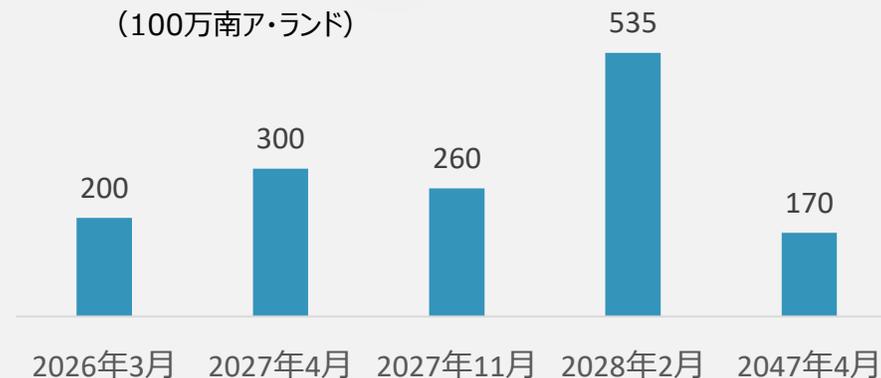


承認されている現地通貨建債券発行プログラム

- 1億6,000万ザンビア・クワチャMTNプログラム
- 1,600億ナイジェリア・ナaira MTNプログラム
- 1,250億ウガンダ・シリングMTNプログラム
- 50億ボツワナ・プラMTNプログラム
- 200億南ア・ランドインワード・リスティング・プログラム

南ア・ランド建て債券の償還期限別残高

(100万南ア・ランド)



持続的な民間セクター開発のためにアフリカ現地通貨利用を促進

MDBコミュニティ内ハイブリッドキャピタル導入の先駆者

ハイブリッドキャピタルは株主資本を補完する

- IFRSに基づき100%が資本として計上される
- 100%がAfDBの内部資本適合性基準で計上される
- フィッチ、ムーディーズ、S&P*は想定元本の100%を資本として認識
- ハイブリッドキャピタルは、1米ドルの調達ごとに、少なくとも2米ドルの追加融資を可能にすることが見込まれている

* S&Pはハイブリッドキャピタルを中間資本内容として評価した。これは、調整後普通株式 (ACE) の33%まで、手形を調整後資本合計 (TAC) に全て含むことを意味する。

国際機関発行の初のハイブリッドキャピタル

AA-
(S&P)
Aa3
(ムーディーズ)

- 任意のクーポン消却
- 強制的なクーポン消却：トリガーは総資産/(払込済資本+準備金) > 7.5倍

払込済資本のみに優先する最劣後シニア債

- AfDBが請求払資本の払込請求を行った場合、元本は恒久的に評価減となる
- コールオプション付き永久債

2024年1月に最初の取引が開始



- 最高品質できめ細かなオーダーブックは過去最高の51億米ドルに到達 (6.8倍のオーバーサブスクライブ)
- 需要ピーク時には60億米ドル
- 275の投資家が参加 (うち190は分配済み)

サステナブルハイブリッドキャピタルの活用

- 環境・社会事業への出資に向けた追加融資能力
- AfDBのサステナブルボンド枠組みの下で発行



“ベスト国際機関債”



“年間最優秀開発金融機関 (DFI) ”



“最も革新的なSSA 発行体”

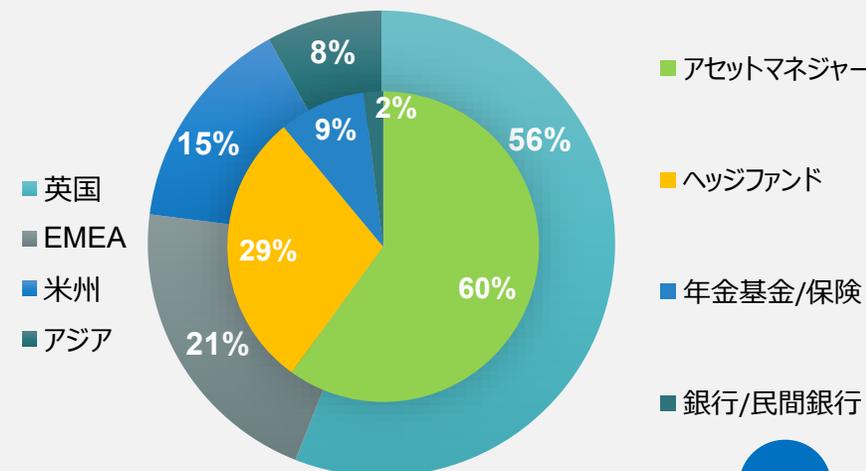


2025年9月に第2回ハイブリッドキャピタル発行



- 最高品質できめ細かなオーダーブックは過去最高の40億米ドルに到達 (8倍のオーバーサブスクライブ)
- リアルマネー系の質の高い投資家 (アセットマネージャー) が、初回発行時と比べて2倍以上に増加

投資家の分布



ハイブリッドキャピタル、AfDBの融資能力を高めるためのイノベーション



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

付録



AfDB 貸借対照表ハイライト (単位 : 百万UA)

12月31日期末	2024	2023	2022	2021	2020
現金	859.306	1,383.15	2,830.74	3,303.14	2,332.19
要求払い預金	1.15	1.15	1.14	1.14	3.82
財政投資	14,371.34	12,382.66	11,712.63	9,793.90	8,825.82
デリバティブ資産	863.319	895.35	924.35	825.94	1,544.55
資本勘定の非譲渡性証券	-	36.88	-	-	-
未収金	1,648.26	1,830.38	1,323.22	1,178.23	590.77
融資残高	24,191.76	22,749.19	20,695.33	20,102.39	21,343.23
ヘッジを行った融資 - 時価に評価替え	-217.55	-278.76	-394.44	48.52	163.78
貸倒引当金繰入額	-500.55	-727.78	-732.26	-559.57	-497.41
資本参加	1,090.63	1,119.07	1,043.84	983.2	937.27
その他の資産	165.65	115.27	84.41	88.75	104.67
資産合計	42,473.32	39,469.69	38,221.22	36,325.22	35,348.69
負債・資本・準備金					
未払金	1,779.56	1,871.02	1,459.40	1,554.59	1,544.26
デリバティブ負債	2,054.34	2,007.87	2,624.88	949	923.72
借入金	26,404.03	24,776.41	24,254.21	25,115.71	25,090.10
引受済資本金	7,533.48	6,951.69	6,366.24	5,710.57	5,081.21
引受に対する為替換算調整累計額	-146.71	-151.64	-154.17	-155.84	-148.21
準備金	4,285.76	4,014.34	3,670.66	3,151.19	2,857.61
負債・資本・準備金合計	43,473.32	39,469.69	38,221.22	36,325.22	35,348.69

1 UA = 1 SDR = USD 1.44027 (2020); 1.39958 (2021); 1.33084 (2022); 1.34167 (2023); 1.30413 (2024)

AfDB 損益計算書 (単位 : 百万UA)

12月31日期末	2024	2023	2022	2021	2020
営業損益					
融資及び関連デリバティブ	1,419.01	1,223.55	521.57	348.24	460.62
投資及び関連デリバティブ	534.49	459.6	218.16	129.34	181.44
資本参加からの収益	20.22	20.48	14.19	23.86	15.25
その他債券からの収益	11.69	7.94	6.89	5.53	2.9
融資及び投資からの収益合計	1,985.41	1,711.57	760.8	506.97	660.21
利息及び債券発行費用の償却	-647.97	-515.69	-418.13	-393.78	-501.12
借入関連デリバティブの純利息	-754.77	-676.02	64.14	322.73	248.18
借入金及び関連デリバティブの未実現損失	-7.81	59.48	88.9	-111.21	63.17
融資元本及び未収手数料の減損引当金	9.47	-18.29	-97.02	-24.97	-59.86
株式投資の減損引当金	-0.28	0.68	1.53	-0.26	-1.71
投資の減損引当金	-0.05	-0.03	0.03	-0.07	-0.04
金融保証の減損引当金	-3.95	-1.43	0.87	-0.16	0.26
為替 (損) 益	-1.27	-10.98	66.46	-1.48	-23.18
その他の利益	20.02	18.32	13.99	13.43	8.6
純営業利益	598.81	567.61	481.57	311.21	394.52
管理費	207.69	-133.12	-207.16	-174.55	-158.41
償却 - 有形・無形資産	34.84	-28.09	-29.09	-32.75	-33.16
雑勘定 (費用) / 収益	1.87	-0.36	-6.04	-7.36	-4.55
その他の費用合計	244.40	-161.57	-242.3	-214.66	-196.12
総務会承認の配分前利益	354.41	406.05	239.28	96.55	198.4
総務会承認の利益配分	-106.00	-46	-64	-55	-59
当期純利益	248.41	360.05	175.28	41.55	139.4

1 UA = 1 SDR = USD 1.44027 (2020); 1.39958 (2021); 1.33084 (2022); 1.34167 (2023); 1.30413 (2024)

* UA= Unit of Account



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

サステナブルボンド 枠組み



新しいサステナブルボンド枠組みでESG市場を前進させる

信頼性と透明性を備えたサステナブルボンド枠組み

- 2023年9月設立
- 既存のグリーンボンド枠組み（2013年）及びソーシャルボンド枠組み（2017年）を統合・合理化
- ICMAグリーンボンド原則（2021年）、ソーシャルボンド原則（2023年）、サステナブルボンド・ガイドライン（2021年）と整合
- 新枠組みの下、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナブルボンドを発行可能
- AfDBの年次サステナブルボンドニュースレターで広範なインパクト報告を公表
- 適格グリーン／ソーシャルプロジェクトへのサステナブルボンドの配分について、毎年外部保証を実施
- 無担保シニアボンドとサステナブルハイブリッドキャピタルボンドの両方の発行に対応

https://www.afdb.org/sites/default/files/2023/09/12/230912_afdb_sustainable_bond_framework_final.pdf

MOODY'S

INVESTORS SERVICE

セカンド・パーティ・オピニオン

サステナブル・クオリティ・スコア2 [非常に良い]

https://www.afdb.org/sites/default/files/2023/09/12/mis_spo_12092023_afdb_final.pdf

適格な社会 プロジェクト カテゴリー

大幅な貧困削減と雇用創出につながる強力な社会的 成果と影響を持つプロジェクトに融資

- 手頃な価格の基本インフラ
- 必要不可欠なサービスへのアクセス
- 食料安全保障と持続可能な食料システム
- 雇用創出と中小企業金融やマイクロファイナンスを含めた社会経済危機に起因する失業の防止・緩和を目的としたプログラム
- 社会経済的向上とエンパワーメント

適格な グリーン プロジェクト カテゴリー

気候変動の緩和と適応に焦点を当てたプロジェクトに融資

- 再生可能エネルギー
- 持続可能なモビリティ
- エネルギー効率
- 生物天然資源と土地利用の環境的に持続可能な管理
- 持続可能な上下水道管理

AfDBのサステナブルボンド枠組み

資金使途

- ADBが融資するプロジェクトのみ
- サステナブルボンドの純収益と同額が適格グリーン／ソーシャルプロジェクトに充当
- 気候変動ファイナンスのトラッキング手法と連動したグリーンボンドポートフォリオの適格基準

プロジェクト評価と 選考のプロセス

- 業務部門が全プロジェクトを特定・分類し、環境・社会的な成果や影響が大きい案件を選別
- 業務部門と財務部門が共同で合意したグリーン／ソーシャルプロジェクトの最終選定
- 持続可能なポートフォリオのモニタリング

収益の管理

- ポートフォリオアプローチ
- サステナブルボンドの純収益と同額を36か月以内にサステナブルプロジェクトに配分
- 適格なサステナブルプロジェクトへの純収益の結びつきを保証する、認証された正式な内部プロセスを通じて、半期ごとに配分が追跡される
- サステナブルボンドが全額配分されない限り、純収益は流動性自己ポートフォリオに保管され、同じ保守的投資ガイドラインの下で投資される

報告

- サステナブルボンド専用ウェブページ
- 年次サステナブルボンドニュースレター
- 適格グリーン／ソーシャルプロジェクトの環境的・社会的便益に関する年次インパクト報告
- プロジェクトカテゴリー毎の開発インパクト指標
- サステナブルボンドポートフォリオの主要なインパクト指標を含むインパクトの集計報告
- グリーン／ソーシャルプロジェクトへの資金支出と配分に関する情報開示

対外保証

- ムーディーズインベスターサービスによるセカンドパーティオピニオンにより、サステナブルボンド枠組みが、AfDBのサステナビリティ目標、ICMAグリーン&ソーシャルボンド原則およびサステナブルボンド・ガイドラインの主要な特徴と整合していることを確認
- サステナブルボンドの純収益の適格グリーン／ソーシャルプロジェクトへの配分を独立した外部レビューアが毎年検証

透明性へのコミットメント

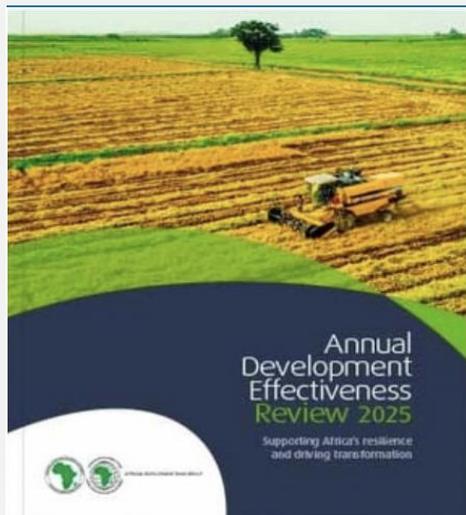
サステナブルボンド専用ウェブページ

- サステナブルボンド枠組み
- ムーディーズのセカンドパーティ オピニオン
- 適格グリーン／ソーシャルプロジェクト
- サステナブルボンドニュースレター
- サステナブルボンド取引
- 10カ年戦略
- 環境政策
- エネルギー政策
- 統合セーフガードシステム
- 気候変動資金に関するMDB 共同報告書
- 気候変動資金追跡方法論
- 年次開発効果レビュー (ADER)
- アフリカのエネルギーに関するニューディール
- アフリカ経済見通し

透明性へのコミットメント

インパクト報告書：

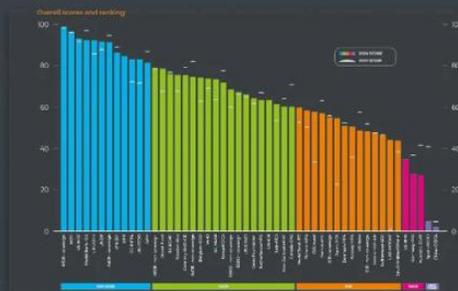
- 建設または改修された再生可能エネルギー容量
- 年間エネルギー節約量と生産量
- 削減または回避された年間温室効果ガス排出量
- 裨益者数
- 創出された雇用の数
- その他のプロジェクト・カテゴリー固有の指標



ADER報告書は毎年発行され、AfDBの公共および民間セクターの全プロジェクトをモニタリングし、開発目標に対するアフリカの進捗状況の詳細を示し、アフリカの開発に対するAfDBの貢献を評価

Aid Transparency Index #2024 Index

African Development Bank's sovereign portfolio retains top spot in 2024 Aid Transparency Index



Publish WhatYouFund

The Global Campaign for Aid and Development Transparency

SCORE: 98.8 RANKING: 1/50 VERY GOOD

ADER報告書：<https://www.afdb.org/en/documents/annual-development-effectiveness-review-2025>

援助透明性指標2024：https://www.publishwhatyoufund.org/app/uploads/dlm_uploads/2024/07/2024-Aid-Transparency-Index-report.pdf

ソーシャルボンド・インパクトレポート

ソーシャルポートフォリオ全体のインパクトレポート（2024年12月時点）

1,020万トン

年間農業
生産量の増加

8.3 MTCO₂e

削減または回避
された年間温室
効果ガス排出量

120万人

創出・保護された
雇用者数

48万4,000人

研修の受講者数

780万人

水・衛生への
アクセスが改善

28万7,000社

金融へのアクセスを
支援した
中小零細企業

230万人

電力への
アクセスが改善

140万ヘクタール

農業用に灌漑
または開発された
耕作地

日量56万6,000m³

水の生産量

2億50万人

裨益者

- このインパクトレポートはプロジェクト評価時点における事前推定に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はない。
- このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではない。
- インパクトは、プロジェクトに占めるAfDBの経済的シェアに応じて比例配分される。
- プロジェクトごとの完全なインパクトレポートは、AfDBのサステナブルボンドのウェブページからダウンロード可能。

（2024年12月31日時点）

グリーンボンド・インパクトレポート

グリーンポートフォリオ全体のインパクトレポート（2024年12月時点）

360万MTCO₂e

削減または回避
された年間温室
効果ガス排出量

693 MW

建設または改修された
再生可能
エネルギー容量

207万MWh

再生可能エネルギー
の年間生産量

29万7,000 MWh

年間エネルギー
節約量

2億4,700万m³

年間の節水・
水処理量

1億2,400万m³

処理・再利用・回避
された年間廃水量

7万5,000ヘクタール

灌漑地

4万2,000ヘクタール

修復または保護された
荒廃林

53万4,000本

植林数⁸

1,340万人

裨益者⁹

280万人

雇用創出

- このインパクトレポートはプロジェクト評価時点における事前推定に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はない。
- このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではない。
- インパクトは、プロジェクトに占めるAfDBの経済的シェアに応じて比例配分される。
- プロジェクトごとの完全なインパクトレポートは、AfDBのサステナブルボンドのウェブページからダウンロード可能。

（2024年12月31日時点）

変革的なソーシャルプロジェクトへの融資

チュニジア - 雇用創出を通じたビジネス競争力と国民のエンパワーメントのための支援プログラム

プロジェクト総額：5億2,200万ユーロ / AfDB融資額：9,000万ユーロ
承認：2024年

新規ビジネスの創出、既存ビジネスの成長とフォーマル化、若者と女性の質の高い雇用へのアクセス改善を促進するプログラム。

これに関する主な成果分野は次の3つ。i) 求職者の雇用可能性や民間セクターの生産性および競争力を向上させるためのスキル開発、ii) 起業家精神とビジネスのフォーマル化支援を通じた国民のエンパワーメント、iii) プログラムの実施と制度的能力の構築に向けた支援。

モロッコ - 森林地域の包摂的かつ持続可能な開発支援プロジェクト

プロジェクト総額：1億1,500万ユーロ / AfDB融資額：8,400万ユーロ
承認：2024年

i) 天然資源の持続可能な管理、および ii) 林業バリューチェーンの包括的な推進と（技術支援による）林業・養殖業の起業家精神の育成を通じて、森林住民の生活環境改善と農村中産階級の創出に貢献することを目的としたプログラム。

気候変動に立ち向かうモロッコ経済の強靱性の強化、特に水循環の改善も目指す。

期待される開発成果

- 1万5,000社に無利子融資を提供
- 2万1,550社の中小零細企業または協同組合の金融へのアクセスを支援
- 3万人の求職者に研修を提供
- 最も脆弱な人々のために1万7,000世帯の衛生設備を整備・改修
- 11万8,900人の雇用創出

期待される開発成果

- 年間の森林再生ペースが平均700ヘクタール増加
- 8,900ヘクタールの侵食被害地を修復
- 4,200ヘクタールの森林地域を修復
- 120kmの林道と15箇所の給水所を修復
- 水生環境に放流するために440万匹の稚魚を生産
- 1万7,000人の雇用創出

変革的なグリーンプロジェクトへの融資

ナイジェリア – ヨベ州環境・気候変動対策プロジェクト

プロジェクト総額：1億100万米ドル / AfDB融資額：5,000万米ドル
承認：2024年

ヨベ州における食料生産や収入の機会創出により、気候変動に対するレジリエンスの強化や食料不安の軽減を目指すプロジェクト。そのために、i) 苗木を生産する既存の苗床の改修、ii) 荒廃したオアシスの再生による農業生産地の拡大、iii) 河畔地域における農業用水管理計画の推進、iv) 炭素隔離の開発・導入、v) 森林木材に依存しない中小零細企業の設立、vi) 産業向けおよび家庭向けのグリーン調理用代替エネルギーの創出、vii) 炭素市場にアクセスするためのシステムの構築を行う。

期待される開発成果

- 12万ヘクタールの荒廃した森林を再生
- 年間40万トンのCO₂e排出量を削減
- 2,000万本の植林
- 米と小麦の生産量が7万5,000トン増加
- 2,000人の雇用創出

ケニア – 送電網整備プロジェクト

プロジェクト総額：1億1,500万ユーロ / AfDB融資額：5,400万ユーロ
承認：2023年

人々の生活の質の向上、女性と若者のビジネス活動や雇用創出の促進、および環境悪化の抑制に役立つ電力アクセスの拡大を支援し、それによってプロジェクト対象地域の全体的な経済成長を実現するプロジェクト。主な開発目標は、高圧送電網の送電能力を強化し、グリーン電力供給の信頼性と効率を高めること。このような改善は、プロジェクト地域の社会経済的発展や低炭素開発の強化を可能にする重要な要素である。また、化石燃料発電所からの温室効果ガス排出量の削減や、送電線の過負荷に伴う損失の低減にも貢献する。

期待される開発成果

- 272kmに及ぶ132kVおよび220kV送電線を敷設
- 44MWの再生可能エネルギーを送電
- 年間1,288トンのGHG排出量を削減
- 2万本の植林
- 7つの新たな変電所を建設または改良・アップグレード
- 450人の雇用創出



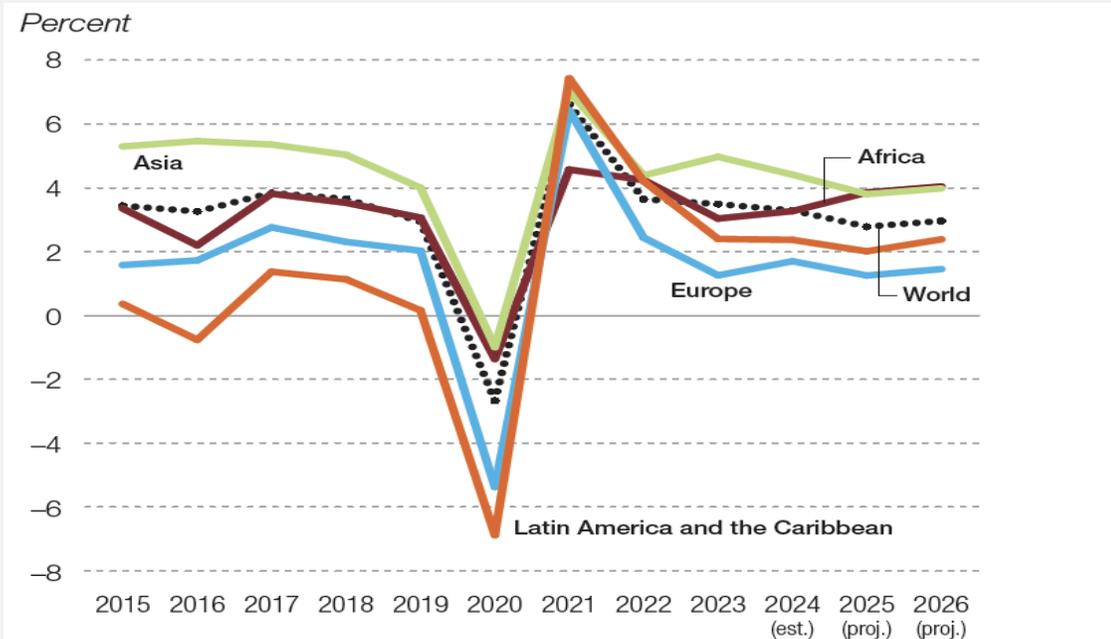
AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

アフリカ経済見通し

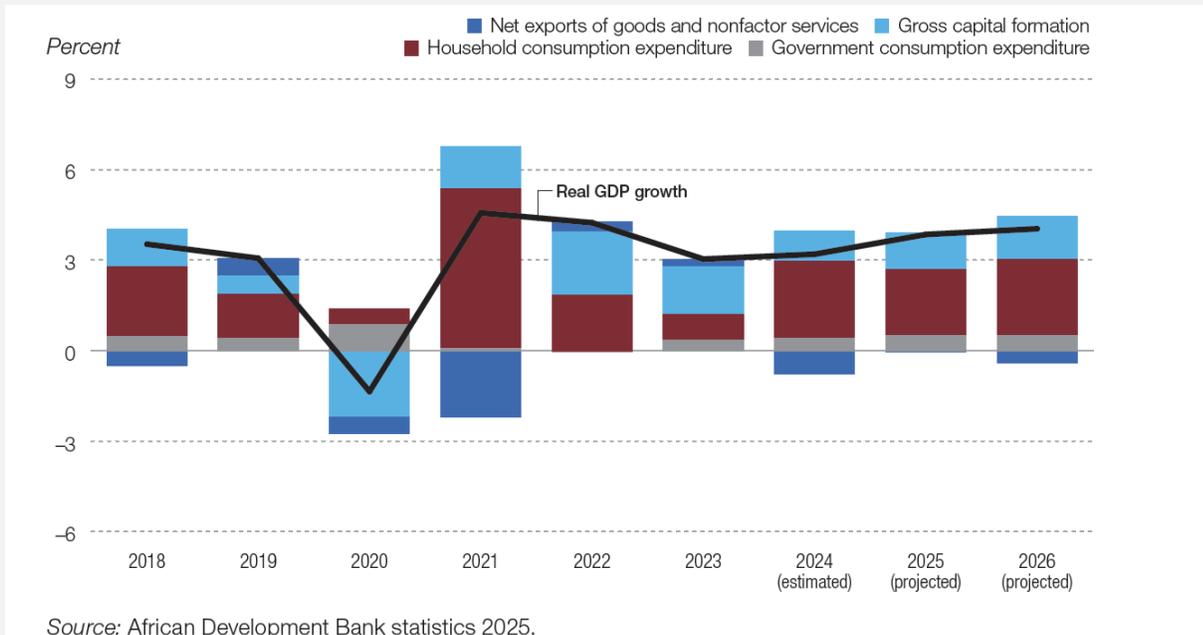


世界的な不確実性の中、経済の強靭性（レジリエンス）

地域別実質GDP成長率 2015-2026年



GDP成長の需要構成 2018-2026年



Source: African Development Bank statistics 2025.

財政赤字の拡大はプライマリー赤字の増加を反映

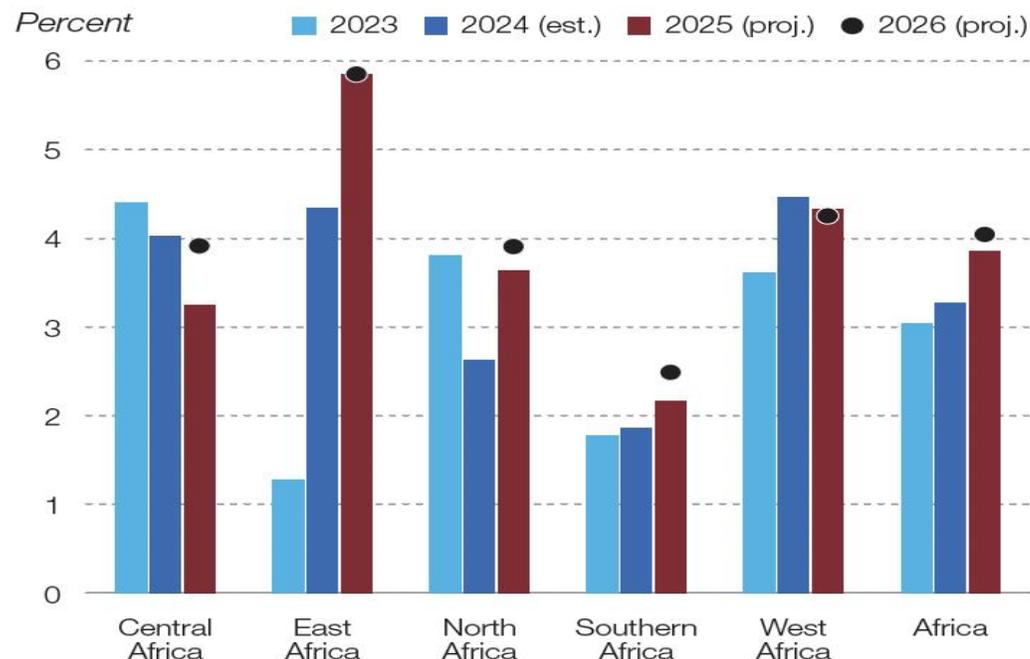
財政赤字は2023年の4.4%から2024年には4.7%に拡大したが、2025年と2026年には4.5%に縮小する見込み。財政赤字は徐々にパンデミック前の水準に戻りつつあるが、主に高水準のプライマリー赤字により、そのペースは依然として緩慢。

インフレ圧力を受け、多くの国で予想インフレ率が中期目標を上回る

2024年のインフレ率は平均18.7%で、国内の食料供給ショックと通貨下落の波及効果が主な押し上げ要因となった。平均インフレ率は2025年には13.8%、2026年には9.9%に低下する見通し（1桁台となるのはパンデミック後初めて）。

東部アフリカが牽引する景気回復の予測

地域別実質GDP成長率



中部アフリカ

成長率は2023年の平均4.4%から2024年には4%となり、2025年には3.2%、2026年には3.9%に低下する見通し。2025年の落ち込みは、世界貿易の不確実性の高まりと低調な見通しによる石油・鉱業生産の減速や公共投資の抑制を反映している。

東部アフリカ

長らくアフリカ随一の急成長地域として定着しており、実質GDP成長率は2024年の平均4.3%から2025年と2026年には5.9%に加速する見込み。ショックへの強さは、一部の国の経済がアフリカで最も多角化が進んでいることが要因の可能性。

北部アフリカ

2024年の2.6%という緩やかな成長率の後、リビア、エジプト、モロッコの成長回復を追い風に、2025年には3.6%、2026年には3.9%の成長が見込まれる。

南部アフリカ

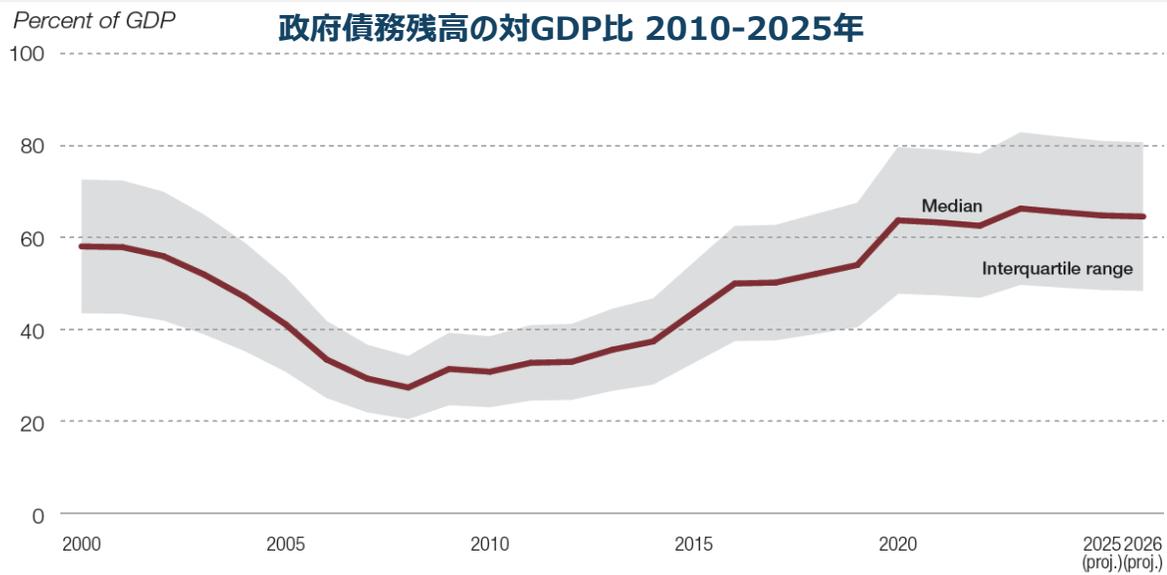
成長率は2024年の推定1.9%から、2025年には2.2%、2026年には2.5%へと上向き見込み。成長見通しは低調だが、エスワティニ、ザンビア、ジンバブエの予測は持続的な回復を示唆している。

西部アフリカ

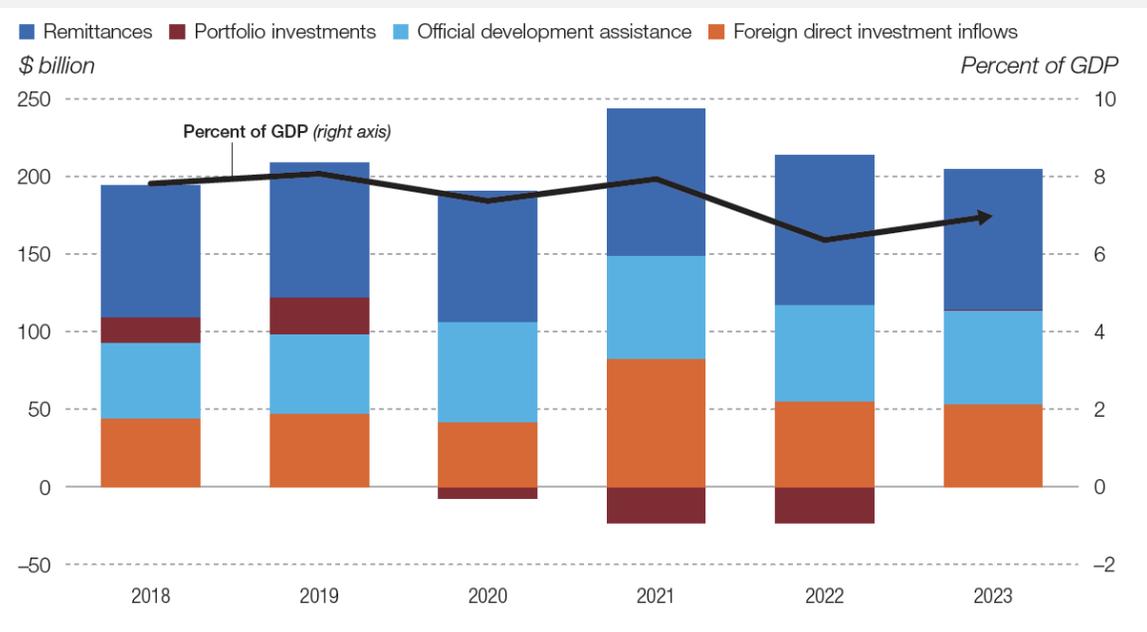
2024年の成長率は推定4.5%だが、2025-2026年には4.3%に低下する可能性がある。ガーナ、ナイジェリア、シエラレオネ以外の国では、2025年に5%以上の成長が見込まれる。

…しかし、債務問題に対処するには不十分な経済成長

公的債務は安定したが、なおパンデミック前の水準を上回っている



アフリカへの対外資金フローは2023年に回復したが、援助削減の波と世界的な不確実性を背景に資金流入は短・中期的に減少する可能性



最近の累積債務の要因

- 未曾有のショックによる不安定な公共財政
- パンデミックに見舞われた経済を支援し、食品とエネルギーの価格高騰による家計への影響を緩和するための政府行動
- 多くの国で、対外債務返済がパンデミック前の水準を上回った

- 2023年の外国直接投資（FDI）、政府開発援助（ODA）、ポートフォリオ投資及び送金は2,040億米ドル、アフリカのGDPの約7%となった
- アフリカへのFDI流入は、世界全般や発展途上国の傾向を反映して2023年に一段と弱まり、前年比3.4%減の530億米ドルとなった
- 送金のみが0.2%の微増であった



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
GROUPE DE LA BANQUE AFRICAINE
DE DEVELOPPEMENT

よくあるご質問



よくあるご質問

1) AfDBとADFの関係は？	63
2) AfDBの資本構造は？	64
3) 資本の払込請求の手続方法は？	65
4) 投資ガイドラインは？	66
5) AfDBの信用ポリシーは？	67
6) AfDBの貸出限度額は？	68
7) 融資の適格基準とは？	69
8) AfDBの融資承認プロセスとは？	70
9) AfDBの融資金利とは？	71
10) AfDBの出資方針とは？	72
11) 出資の適格基準は？	73
12) 最大の想定エクスポージャーは？	74
13) 国別のソブリン及びノンソブリンポートフォリオの分布は？	75
14) エクスポージャーの交換アグリーメントとは？	76
15) 優先的に弁済を受ける債権者としての地位（PCS: Preferred Creditor States）とは？	77
16) AfDBの不良債権とは？	78
17) 債務償却に関するポリシーとは？	79
18) 脆弱な状態とは？	80
19) アフリカにおける現場でのプレゼンスは？	81
20) AfDBの統合セーフガードシステムとは？	82
21) 倫理的な事業慣習とは？	83
22) 採取産業透明性イニシアティブとは？	84

AfDBとADFの関係は？



アフリカ開発銀行（AfDB）とアフリカ開発基金（ADF）はそれぞれAfDBグループの事業体で、法的かつ財務的に独立しており、資産及び負債も区別されている。



アフリカ開発銀行（AfDB）は、資金を資本市場で調達し、格付を受け、アフリカ地域の最も信用性の高い諸国及び有望なセクターのプロジェクトに融資を行う事業体である。



アフリカ開発基金（ADF）は、主にドナーから拠出された資金でソフトローンの貸付けを行うアフリカ開発銀行グループ内の部門である。アフリカの最貧国に対し譲許的融資や無償資金を提供している。

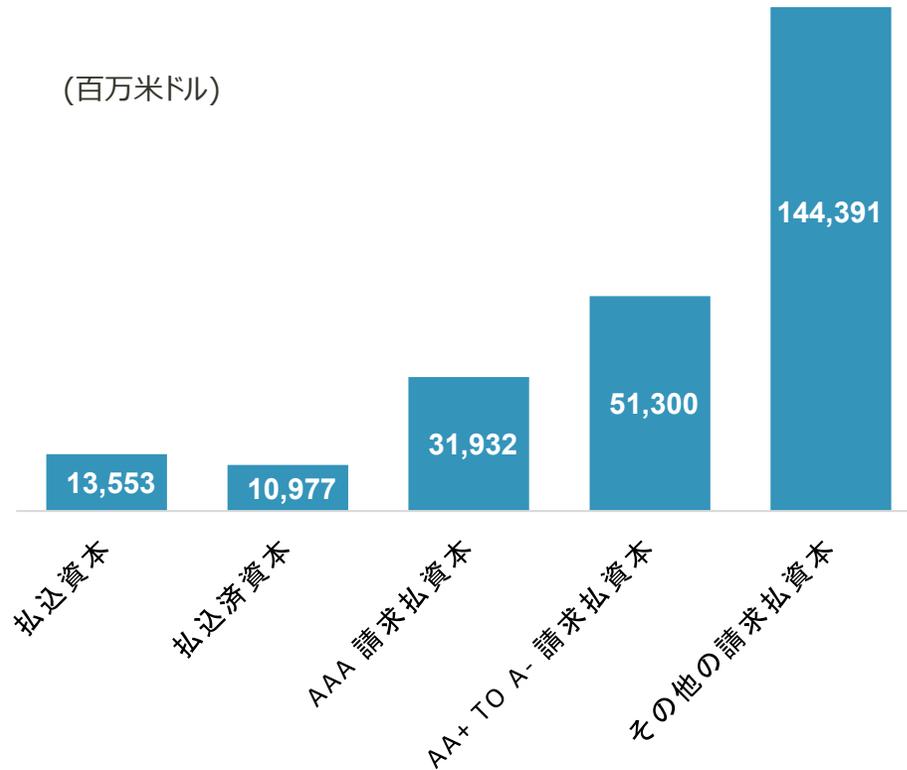


AfDBはADFに出資しており、毎年、純利益からADFに拠出している。
AfDB及びADFは互いのいかなる負債に関しても一切の償還請求の責務を負わない。
両機関はそれぞれ独立した事業体であるため、両機関間でエクスポージャーの移動はできない。

AfDBの資本構造は？

AfDBの資本構造（引受済株式）

(百万米ドル)



(2025年12月31日時点)

2025年12月31日時点の授權資本は、2024年5月に理事会が承認した1,210億米ドルの一般請求払資本増資を含めて、3,290億米ドル

第7次一般増資：6%の払込済資本を含む125%の増資により、資本額は約2,080億米ドルに増加(*)

弊行のフランチャイズ価値、主要な健全性レシオ、AAA信用格付けを強化

請求払資本 (callable capital) は、財政難の場合に、各株主国がAfDBに追加資金を提供するというコミットメント

株主国の強力な支援を示す

将来的に増加する需要を満たし、事業の成長計画を支援する能力

これまでにAfDBの資本の払込請求が行われたことはない。

(*) 第7次一般増資承認後の授權資本

資本の払込請求の手続方法は？

目的

- 請求払資本（Callable Capital）は、拠出された資本の一部であり、借入金又は保証に関するAfDBの義務を果たすために必要な場合に限り、払込請求が可能。

メカニズム

- 支払は、加盟国により金、交換可能通貨又は払込請求の基となったAfDBの義務履行のために要求されている通貨で行われなければならない。
- AfDBは加盟国に対し、請求払資本の払込請求の際には、AfDBがニューヨークの連邦準備銀行又はその目的のために正式に指名された後継機関に設定した特別口座にかかる払込請求に応じて支払をするよう求める契約を締結している。
- かかる口座の条件では、払い込まれた資金は、まずシニアデットの発行に関連してAfDBが負っている債務残高の全ての返済又は全額清算のための引当金に充当し、その他のいかなる返済にも優先すると規定されている。

独立義務

- 請求払資本の払込請求は、自己資本のすべての株式の比率に対して均等であることが要求されているが、かかる払込請求に対して支払を行う加盟国の義務は、それぞれ独立したものである。
- かかる払込請求に対する支払について1カ国又は複数の加盟国が不履行となった場合でも、その他の加盟国は支払義務から免れない。弊行の義務を果たすために必要であれば、債務不履行をしていない加盟国に対して追加の払込請求ができるが、いかなる加盟国も通常資本のうち払込がなされていない金額を上回る支払は要求されない。

注記： アフリカ開発銀行は、同機関が請求払資本を払込請求する際の法的枠組み、プロセス、ガバナンスを明確にした報告書を発表した。

[https://www.afdb.org/sites/all/libraries/pdf.js/web/viewer.html?file=https%3A%2F%2Fwww.afdb.org%2Fsites%2Fdefault%2Ffiles%2Fdocuments%2Ffinancial-information%2Fanalysis of callable capital - april 12 2024-final formatted-3.pdf](https://www.afdb.org/sites/all/libraries/pdf.js/web/viewer.html?file=https%3A%2F%2Fwww.afdb.org%2Fsites%2Fdefault%2Ffiles%2Fdocuments%2Ffinancial-information%2Fanalysis%20of%20callable%20capital%20-%20april%2012%202024-final%20formatted-3.pdf)

投資ガイドラインは？

投資の種類	最低格付け	最大満期	流動性ヘア・カット率
国債／政府機関債／国際機関債	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	30年 15年 1年	AAAは0% AA+からAA-は20% A+からA-は40%
銀行債及び金融機関債	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	10年 5年 6ヵ月	AAAからAは50% それより下位は100%
社債	AAA/Aaa AA-/Aa3 A/A2	10年 5年 6ヵ月	AAAからAは50% それより下位は100%
不動産担保証券（MBS）及び資産担保証券（ABS）	AAA/Aaa	40年	100%

AfDBの信用ポリシーは？

- ▶ AfDBグループの信用ポリシーでは、以下2つの基準に基づいて、域内加盟国（RMC: Regional Member Country）のアフリカ開発銀行、アフリカ開発基金またはその両方への適格性を判断する。
 - 1人当たり国民所得が一定基準値以上
 - 非譲許的借入に相応しい信用
- ▶ 信用アセスメントに加え、弊行は全アフリカ加盟国について、国際的な大手格付機関に評価されたソブリン格付モデルに基づき、毎年内部格付を行っている。ソブリン格付は年間を通じて継続的にモニターされ、各国のファンダメンタルズに変化がある場合には格付の変更もあり得る。また、これらは行内信用リスク委員会のレビューを受け、承認される。
- ▶ **2025年6月時点で、**
 - **ソブリン融資の適格国は17カ国**：アルジェリア、アンゴラ、ボツワナ、カーボベルデ、コンゴ共、エジプト、赤道ギニア、エスワティニ、ガボン、リビア、モーリシャス、モロッコ、ナミビア、ナイジェリア、セーシェル、南アフリカ、チュニジア。
 - **AfDB及びADF双方の融資を受けることが可能な「ブレンド国*」は6カ国**：カメルーン、コートジボワール、ケニア、セネガル、タンザニア、ザンビア。
 - **2014年の信用ポリシー改訂によるAfDBのソブリン融資を受けることが可能なADF適格国は3カ国**：ベナン、ルワンダ、ウガンダ。
- ▶ 2014年、AfDBはADF適格国の経済開発需要に積極的に対応することを目的として、信用ポリシーに柔軟性をもたせる改訂を行った。この改訂により、このカテゴリーの国々に対し個別事案に応じて、AfDBの公的窓口から革新的プロジェクトに対する資金を提供することができる。AfDBのソブリン融資を受けるためには以下の基準を満たす必要がある。
 - (i) IMF/世銀の債務持続性評価（DSA: Debt Sustainability Analysis）が定義する債務困難性に係るリスクが、低程度から中程度の国として分類されていること
 - (ii) IMFのDSAが定める非譲許的借入を受ける余裕が当該国にあること
 - (iii) 当該国のマクロ経済が、特別リスク評価の基準に照らして持続可能な状態であること
 - (iv) 貸付要請が、域内加盟国のためのリスクアセスメントに基づき、行内の信用リスク委員会から承認を受けること

*ブレンド国とは、ある信用状態から別の状態への移行枠組みにある国。一人当たりの所得は未だ一定レベルを下回っているものの、信用力があるとみなされる国がブレンド国として取り扱われる。

AfDBの貸出限度額は？

リスクからAfDBを守るという最も重要な目的のため、AfDBの事業には複数の制限が設けられている：

- ノンソブリンの事業はリスク総資本*の45%
- 市場リスク及びオペレーショナル・リスクはリスク総資本の10%

制限	定義	比率
カントリー制限	単一国に割り当てられる総資本額	AfDBのリスク資本の15%
セクター制限	単一セクターに割り当てられる総資本額	セクターに関わらず、民間セクターの事業に割り当てられるリスク資本の11.25% 金融サービスセクターは、民間セクターの事業に割り当てられるリスク資本の15.75%
単一ネーム制限	単一カウンターパーティーに割り当てられる総資本額	民間セクターのリスク資本の2.7%
資本参加制限	資本参加	リスク総資本の15%

* リスク資本は、払込済資本及び準備金と定義される。

融資の適格基準とは？

公共部門

適格性は以下の2つの柱に基づく。

- 1人当たりの国民総所得
- 信用度

2025年6月時点のソブリン貸付の適格国は、アルジェリア、アンゴラ、ベナン、ボツワナ、カーボベルデ、カメルーン、コンゴ共、コートジボワール、エジプト、赤道ギニア、エスワティニ、ガボン、ケニア、リビア、モーリシャス、モロッコ、ナミビア、ナイジェリア、ルワンダ、セネガル、セーシェル、南アフリカ、タンザニア、チュニジア、ウガンダ、ザンビアの26カ国。

適格国のリストは各国の状態に応じて定期的に見直され、適格国への追加または削除は理事会で決定する。

また、AfDBは国際的な大手格付機関が認めるソブリン格付けモデルに基づき、アフリカ地域の全加盟国の内部格付を毎年実施している。ソブリン格付は1年を通じてモニターされているが、各国のファンダメンタルズに変化がある場合には変更することがあり、その場合にはAfDBの信用リスク委員会の承認が必要である。

民間セクター

AfDBは、54カ国の域内加盟国の商業的に有望な民間セクターの事業にのみ貸付を実施している。商業的に存立する可能性やリスクは内部格付モデルに基づいて概算される（内部格付モデルは国際的な大手格付機関の支援の下、定期的に見直される）。格付けは毎年最低1回は見直され、積極的な改善策がタイムリーに実行されるよう継続的にモニタリングされる。

AfDBは内部格付が「5」を下回る（国際基準の「B-」に相当）のプロジェクトには貸付をせず、格付が「5」以上（数字上）の場合は次の条件を満たす必要がある。1）臨時理事会の承認、及び2）限度額はAfDBの資本金の10%までであることまた、AfDBは単一ネーム・エクスポージャー（リスク資産総額の6%）及びセクター・エクスポージャー（民間セクター事業に割当てられるリスクキャピタルの25～35%）を管理するため、限度額を設定している。

AfDBは、民間セクターの事業に関する事前追加性及び開発成果の評価（ADOA）のための枠組みを使用している。設定された基準となる開発成果指標により、追跡、モニタリング及び事後評価が容易になる。

AfDBの融資承認プロセスとは？

AfDBには、関与する分野を決定する際に、10ヵ年戦略の一環として明確な中核的事業優先事項と分野横断的なテーマがある。プロジェクトは、すべて同一の内部承認プロセスを経る。

- ▶ **1.プロジェクトコンセプトノートの作成** -プロジェクトコンセプトノート（PCN）とは、融資を受けるプロジェクトの主な特徴を簡潔かつ分析的に示すために作成される文書である。その主たる目的は、プロジェクトの査定及びデュー・デリジェンスを進めるか否かについて、管理職が詳細な情報を得た上で判断できるようにすることである。PCNの第一段階の審査を担うのは、査読者及びAfDBの幅広い関連部署から選りすぐられた専門家から構成されるプロジェクト査定チーム（PAT）のメンバーである。PCNは、最終的にカントリーチームによる審査及び検討を経る。カントリーチームは取引が計画性を持っているか、構造及び方向性がAfDBの戦略と開発優先事項に準拠しているかを判断し、プロジェクトが技術的に健全で商業化が可能かを明らかにする。PCNは（地域責任者が議長を務める）カントリーチームの認可後、最終的な認可を得るために（AfDBの副総裁・最高執行責任者が議長を務める）事業委員会に引き継がれる。ただし、1億UA以上の資金、風評リスク、非常に革新的な計画を含む場合など、特定の状況に対応した一部のプロジェクトのPCNは、（AfDBグループの最高リスク管理責任者が議長を務める）信用リスク委員会による事前の審査を受けなければならない。信用リスク委員会は、最終的な認可が行われる前に事業委員会に対して信用リスクガバナンス、信用評価及び格付け変更の承認に適用可能な勧告を行う。これに続き、事業委員会は、事業の技術的詳細を中心にプロジェクト草案を包括的に審査する。この段階で特に重要なのが格付けである。この段階でプロジェクトが認可された場合、PATは査定及びデュー・デリジェンスを行うためにプロジェクト査定ミッションに移り、その場でプロジェクトを評価する。同時に、AfDBのリスク管理部が独自のプロジェクト信用評価を行い、サマリー・クレジット・ノートを作成する。
- ▶ **2.プロジェクト査定段階** -デュー・デリジェンスの完了時にプロジェクト査定報告書が作成される。その後、カントリーチームと同等のプロジェクト査定チーム内で議論される。カントリーチーム内でのプロジェクト査定報告書の議論は、さらなる信用評価に関する勧告を行うために信用リスク委員会が行う審査の後に行われるものである。カントリーチームによる認可後、プロジェクトは事業委員会に送付され、承認を得るため理事会に提出される。
- ▶ **3.理事会の承認** - 最終承認は理事会の判断に委ねられる。理事会は、プロジェクト査定報告書及びリスク管理部が作成した独立した理事会信用覚書報告書に基づいて決定する。

承認（及び融資実行）後も、AfDBのリスク管理部が定期的に全てのプロジェクトを評価及び査定を実施し、内部リスクの格付けも定期的に更新される。

AfDBの融資金利とは？

	完全フレキシブル ソブリン融資及びソブリン保証付融資	ノンソブリン融資
通貨	米ドル、ユーロ、日本円、南アフリカランド及びAfDBが貸付通貨として指定するその他の通貨	米ドル、ユーロ、日本円、南アフリカランド及びAfDBが貸付通貨として指定するその他の通貨
満期	最長25年（最長8年の猶予期間）	最長15年（最長5年の猶予期間） 長期間に及び満期も個別に検討可能
貸出利率	価格転嫁 基準金利（変動又は固定） + 資金調達コストマージン + 貸付スプレッド（80bps） + 期間プレミアム	基準金利 + 貸出金利のマージン
基準金利	固定： - 米ドルに対するデیلیーSOFR複利後決め - ユーロに対する6か月EURIBOR - 南アフリカランドに対する3か月JIBAR - 日本円はデیلیーTONA 複利後決め 借主は変動基準金利から固定基準金利への変更をリクエスト可 -現地通貨は、資金調達は融資と連続して行われ、コストは借主負担-	固定： -米ドルはデیلیーSOFR複利後決め -ユーロに対する6か月EURIBOR -南アフリカランドに対する3か月JIBAR -日本円はデیلیーTONA 複利後決め 借主は変動基準金利から固定基準金利への変更をリクエスト可。 また、借主は期間SOFRをリクエストも可能であり、その場合、デیلیーSOFRとの差を考慮するためにベースス・スプレッドを適用 -現地通貨は、資金調達は融資と連続して行われ、コストは借主負担-
資金調達コストのマージン	AfDB の実際の平均資金調達コストがベンチマークを上回るか下回るか、次のセメスターに適用され、半年毎に改訂	南アフリカランドは資金調達コストマージンが設定され、貸付実行時に適用
貸付金利のマージン	80bps	AfDBのノンソブリン金利枠組みに沿った個別プロジェクトの信用リスク格付けに基づく。マージンには信用リスクプレミアム（不履行確率及び不履行時損失率から算出）及び集中リスクプレミアムが含まれる。SOFR および TONA の場合、追加の目標調達コストマージンが貸出マージンに追加
期間プレミアム	融資の平均満期に応じて（最長12.75年は0bps、12.75年以上15年未満の平均満期は10bps、15年以上17年未満の平均満期は20bps）	
手数料	25bpsのコミットメント・フィー及び25bpsのフロント・エンド・フィー	-フロント・エンド・フィー 1% -アプライザル・フィー 0～1% - コミットメント・フィー 0.5～1% - 遅延損害金 利息の2%
返済条件	猶予期間の満了後、元本の均等払い。その他の返済条件も検討可能	猶予期間の満了後、元本の均等払い。その他の返済条件も検討可能
オプションナリティ	借主は基準金利の固定、解除及び再固定が可能。基準金利に関してはキャップとカラーが利用可能 融資の実行部分及び未実行部分に関して通貨換算が可能	固定基本基準金利をリクエスト可。 スタンドアローンのヘッジ商品も活用可

AfDBの出資方針とは？

AfDBは、開発効果の諸原則に準拠し、キャタリスト効果を最大化する適切な運用を選択するため、事前に定義された適格基準を適用する。

目的：

- 出資の目的は、リターンに加え下記を促進することにある。(a) 生産的事業のローカルオーナーシップ、(b) 資源の有効利用、(c) 域内の経済協力及び経済統合、(d) 国家又はサブリージョナルな経済の多様化及び近代化の観点から、重要性が増しつつある経済セクターにおける起業リスク負担、(e) アフリカの中・大規模企業の競争力を強化する手段として、コーポレートガバナンス、経営管理及び企業責任におけるベストプラクティスの基準、(f) 社会経済インフラ、製造業、農業ビジネス、食料安全保障及び金融セクターの発展など、経済に極めて重要なセクターへの国内、域内及び海外からの直接投資の動員。

適格性：

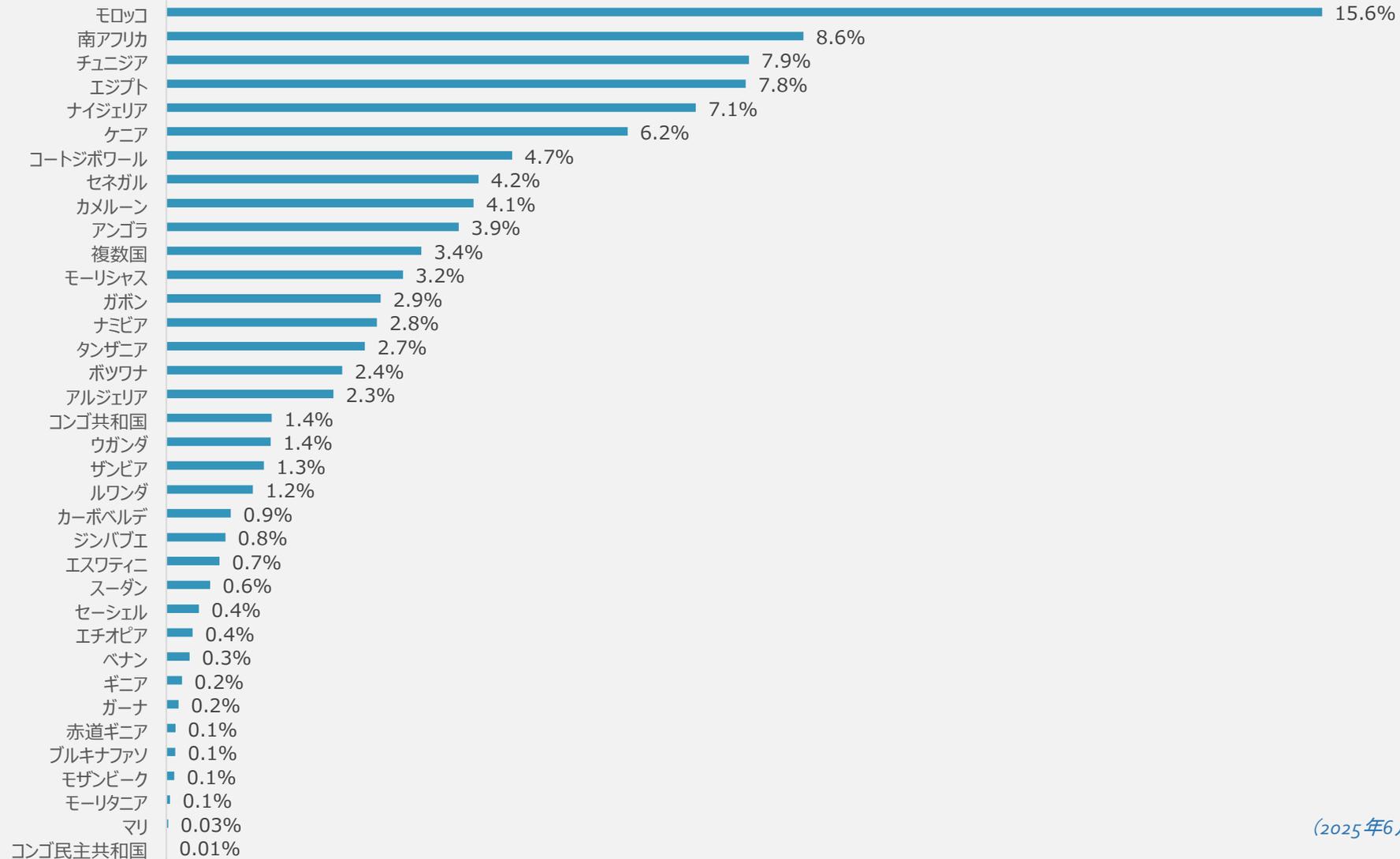
- ノンソブリン事業は、AfDBの投資先として適格と考えられる域内加盟国で実施可能；
- 全ての経済セクター及びサブセクターはAfDBの投資先となりうるが、下記は除く：
 - アルコール飲料、タバコ及び高級品の生産
 - 武器、爆弾及びその他の軍事又は準軍事目的で使用される製品の生産又は取引
 - 原子炉とその関連商品、アスベスト繊維並びに有害物質の生産、取引又は使用
 - 国際条約（CITES）で規制されている野生生物及び野生生物製品の取引
 - プラチナ、真珠、貴石、金及びそれら関連製品の投機売買又は投資
 - 賭博、カジノ及び同種の企業
 - 管理されていない主な熱帯雨林における伐木機械の使用
 - 有害又は搾取的な強制労働及び／又は児童労働を伴う経済活動
 - 当該国の法令又は国際条約及び国際合意により違法とみなされる製品の生産もしくは取引又は活動

出資の適格基準は？

戦略上の適合性	ノンソブリン事業は、AfDB（10カ年戦略2013-2022と後継のHigh 5s「5つの優先分野」、ノンソブリン事業ポリシー、民間セクター開発戦略）、及び域内加盟国（国別戦略報告書と地域統合戦略報告書）の戦略的方向性や優先順位に適合しなければならない。
信用度	潜在的投資先は、有能な経営陣及び良好なコーポレート・ガバナンスにより運営されなければならない。また当該投資先は、優良な環境及び社会的責任の実績又は証明力、有望なビジネスモデル並びに現実的な企業戦略を伴い、AfDB及び他の投資家への償還に十分な収益をあげる能力がなければならない。
商業的に存立する可能性	資本参加、配当金の支払及び／または内部留保の良好な見込みがあり、十分な経済的及び財務的投資収益率をあげられなければならない。
投資収益率	単一の投資に対する投資収益及びその株式ポートフォリオの評価において、AfDBは投資に関する財務的投資収益率（FRRI: Financial Rate of Return on Investment）、評価総額／払込出資金倍率（TVPI: Total Value to Paid-In）、分配金／払込出資金倍率（DPI: Distribution to Paid-In）といった一連のリターン指標を算定する。AfDBは、将来の投資毎に予想されるFRRI、TVPI、DPIを計算する。これらの指標は、投資額の回収に加え、同一の投資先にシニアローンを出す際の利率に対して十分なプレミアムを示すものでなければならない。
出口戦略	達成可能な「出口戦略」が定められ、他の主要株主が合意する場合にのみ、出資を承認する。
開発成果	AfDBは最後の貸し手という立場で、顧客が借り手として合理的とみなされる条件でAfDB以外から融資を得られるとの見解である場合には、ノンソブリン事業に融資を提供しない。
AfDBのアディショナリティ（追加性）	AfDBの役割が、民間セクターから提供される資金に対して「付加的（additive）」である場合にのみ、AfDBは取引に参加する。すなわち、参加により下記が提供される場合である：(a)政治的リスクの緩和、(b)融資期限の延長及び資本市場の発展促進を含む財政的追加性、並びに、(c)開発成果の向上。「付加性（additionality）」の評価に際しては、当該事業にAfDBの参加がなければ行われなかったであろう追加的な協調融資動員のこととなり、及び関連する経済セクターに対するその他の投資の呼び水となるというAfDBの役割に、特に焦点が当てられる。
投資規模	AfDBは投資先企業の経営権を取得することを目的としていないため、資本参加は投資期間を通して企業の総資本の25%までに制限される。
プライベート・エクイティ・ファンド	評価は下記の要素に基づき行われる：(a)財務の健全性及びファンドの過去の実績、(b)投資戦略及びリスク管理、(c)産業構造、(d)経営及びコーポレート・ガバナンス、並びに(e)情報の質。

最大の想定エクスポージャーは？

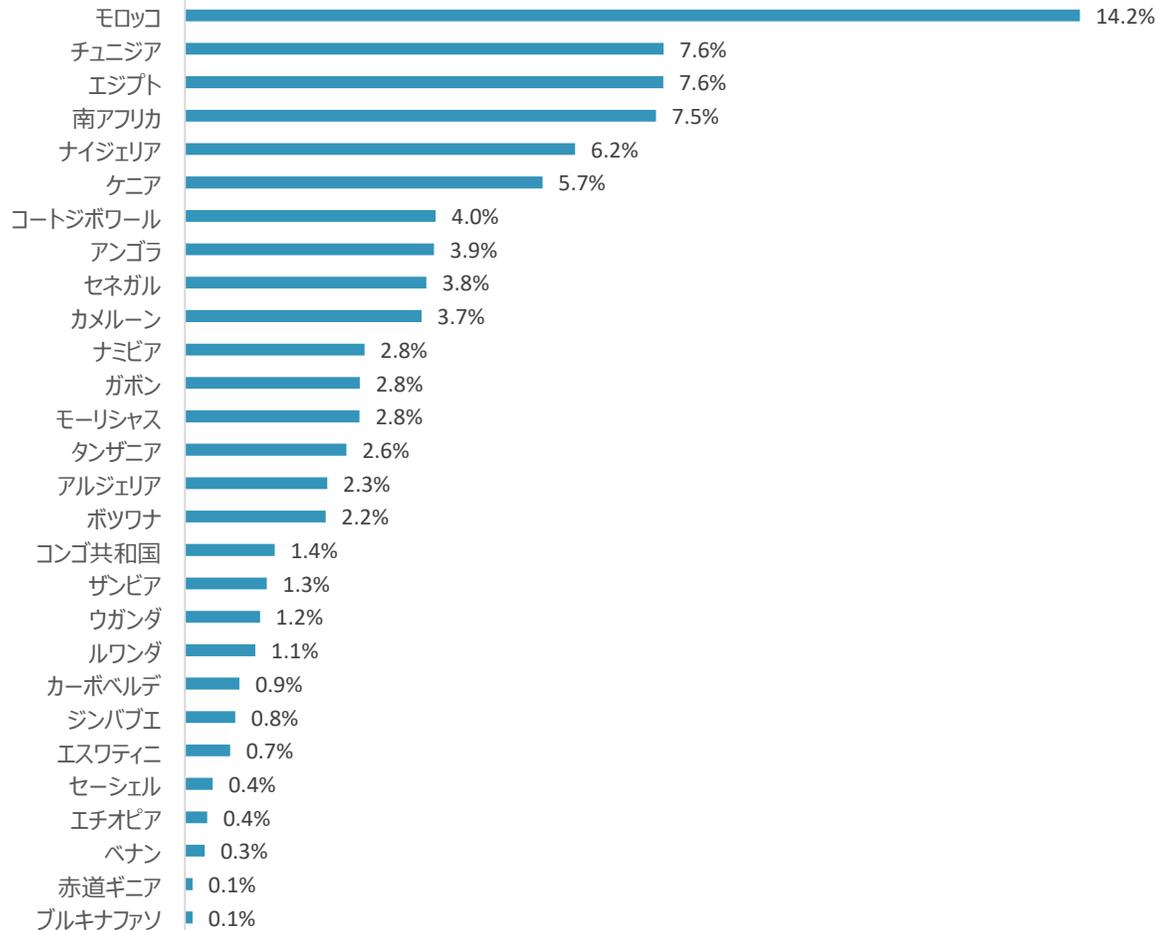
連結ポートフォリオ（ソブリン及びノンソブリン）



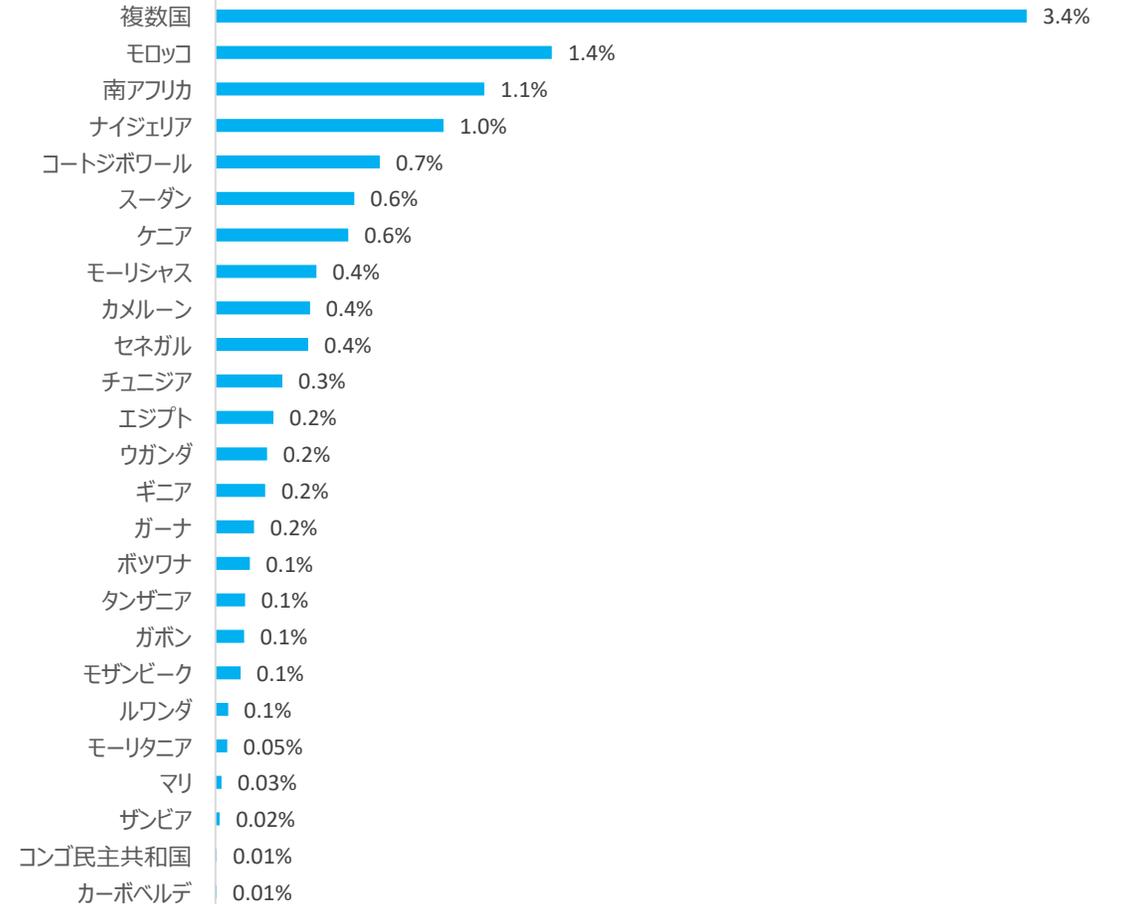
(2025年6月30日時点)

国別のソブリン及び ノンソブリン・ポートフォリオの状況は？

ソブリン・ポートフォリオ



ノンソブリン・ポートフォリオ



(2025年6月30日時点)

エクスポージャーの交換アグリーメントとは？

2015年、AfDBは、貸借対照表の最適化、ソブリン集中リスクの軽減、及び貸付枠の増加を実現するために融資ポートフォリオのリスク管理を目的に、他の国際開発金融機関(MDBs) –米州開発銀行(IADB)と国際復興開発銀行(IBRD) –とエクスポージャーの交換に関する契約(EEA1: Exposure Exchange Agreement)を初めて締結した。

2回目のEEA (EEA2) は2023年にアジア開発銀行 (ADB) と締結し、3回目のEEA (EEA3) は2024年10月に10億米ドルの参照ポートフォリオについてADBと締結した。

EEAは、各国に対して総エクスポージャーの最低50%を保有する各参加MDBとの間で、定義されたソブリン信用エクスポージャー(defined sovereign credit exposure)に関する同様の信用リスクを同時に交換する内容を含む。ソブリン融資を実行したMDBが引き続き契約上の貸し手となる。

EEAは全てAAA格付けを受けているIBRD、IADB、ADBとソブリン集中リスクを軽減する目的で締結

EEAは融資能力及び自己資本比率を大幅に改善

- 売主は、買主が参照ポートフォリオ内の全部又は一部の債権償却又は再編を行う場合、買主に対して元金支払のみを要求する。交換されたエクスポージャーの金額はその時点で理論上等価であることから、プレミアムの支払いはない。
- 経験上、MDBsへの滞納金は最終的には必ず清算されるため、MDBsが滞納金を償却することはほとんどない。
- 2025年6月時点で、EEA1、EEA2、EEA3の下で行われた、いかなるエクスポージャーについてデフォルトは発生しておらず、AfDBは引き続きそのソブリン融資及び保証に係るエクスポージャーの全額の回収を見込んでいる。

EEA1 取引

規模	45億米ドル
満期	最長15年（11年目に償却）
参照ポートフォリオ	RMCs9カ国のソブリンAfDBエクスポージャー

EEA2 取引

規模	10億米ドル
満期	最長15年（11年目に償却）
参照ポートフォリオ	RMCs7カ国のソブリンAfDBエクスポージャー

EEA3 取引

規模	10億米ドル
満期	最長15年（11年目に償却）
参照ポートフォリオ	RMCs6カ国のソブリンAfDBエクスポージャー

優先的に弁済を受ける債権者としての地位 (PCS: Preferred Creditor States) とは？

- ▶ 公共セクターのエクスポージャーにおいて、優先的に弁済を受ける債権者としての地位（PCS）とは、**ソブリン・デフォルトが発生した場合、一般的に他の債権者に優先して返済がなされることを意味する。**
つまり、PCSでは、デフォルト発生時に、AfDBは他の債権者よりも返済が優先されることとなる。格付機関は、国際開発金融機関(MDBs)の評価に当たり、この特徴を考慮に入れている。
- ▶ 民間セクターのエクスポージャーでは、PCS には別のメリットがある。政府（ソブリン）によって外貨へのアクセスが制限される場合、格付機関は MDBsに対する返済には当該制限は適用されないものとみなす。
このことにより、送金及び換算リスクが軽減される。例えば、ある国の債務がデフォルト又はデフォルト寸前の場合、民間セクターは外貨へのアクセスを制限されることがあるが、AfDBへの返済に関してはこの制限は適用されない。

AfDBの不良債権とは？

2025年6月時点の不良債権 (NPLs: Non-Performing Loans) の比率は2.3%

2025年6月時点のソブリンNPLs (単位：百万米ドル)

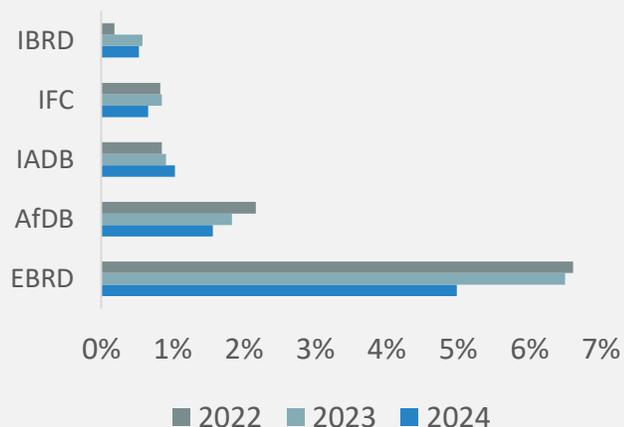
国	未払元本	減損引当金	減損率
ジンバブエ	269	116	43%
AfDB ソブリン融資*	30,293		
ソブリンNPL比率	0.9%		

* 保証を除く

引当金の繰入傾向 (百万米ドル)



不良資産/資産 (開発のための融資等残高)



出所：Moody's Investors Service

2025年6月時点のノンソブリンNPLs (単位：百万米ドル)

セクター	未払元本	減損引当金	減損率
電力	153.0	26.0	17%
電力	70.3	70.3	100%
輸送	64.9	32.4	50%
輸送	58.1	58.1	100%
輸送	55.5	55.5	100%
電力	44.3	23.0	52%
IND/MINI/QUAR	31.8	9.9	31%
輸送	11.1	2.7	24%
輸送	9.1	9.1	100%
農業	8.1	1.6	20%
電力	7.3	7.3	100%
農業	5.0	1.1	23%
農業	4.6	1.1	23%
電力	2.6	1.3	52%
農業	2.3	0.5	23%
農業	2.0	0.5	23%
農業	0.7	0.1	20%
輸送	0.1	0.06	100%
合計	531	301	57%

ノンソブリン NPLs	5億3,100万米ドル
AfDBノンソブリン融資*	40億6,200万米ドル
ノンソブリンNPL比率	13.1%

* 保証を除く

債務償却に関するポリシーとは？

AfDBはこれまで、ソブリン保証付融資を債務償却したことはない。国家のデフォルトは、内乱や非常事態が発生した場合に行われたことがある。平和と安定が回復すると国家はAfDBとの関係を再開し、滞納金を返済するか、または通常は滞納金の清算のためにドナーから援助を受けることになる。

AfDBのポリシーでは、元本、利息または他の手数料の支払が30日延滞した場合、すべての滞納金が清算されるまで、当該加盟国又は当該国の公共部門に対する新たな融資について、理事会の承認を得るための手続きを行わず、既に承認されている融資も実行しない。さらに、このような国については、すべての滞納金が清算されるまで、当該加盟国に対するすべての融資または当該加盟国が保証するすべての融資の実行が停止される。このような国については、未実行のローンにかかる0.5%のコミットメントフィーの免除も適用されない。

AfDBは優先的に弁済を受ける債権者としての地位(PCS)のメリットを享受し、かつ、ソブリン債務者の不良債権エクスポージャーを厳しくモニターしているものの、これまでにいくつかの国はAfDBに対する適時の債務返済に困難をきたしたことがある。前述のとおり、AfDBはポートフォリオにおける損失の評価を踏まえ、ソブリン融資ポートフォリオに係る減損に対する引当を行う。

ノンソブリン融資では債務償却が発生する可能性があり、これについてはAfDBの営業純利益（NOI: Net Operating Income）によって支弁される。現在に至るまで、ノンソブリン融資の大規模な債務償却は実施されていない。

国際財務報告基準（IFRS）に則り、AfDBは通常債権であるノンソブリン・ポートフォリオに関しては、損失見込みをカバーするために一般引当を行うことはない。不良債権ポートフォリオに関しては、AfDBは個々の融資に関する信用減損または発生した損失の評価に基づき、特定貸倒引当金を繰り入れる。

脆弱な状態とは？

2014年戦略

脆弱性とは「制度崩壊、社会崩壊または暴力的紛争のリスクが高まっている状態」を指す。

脆弱性の最新の定義

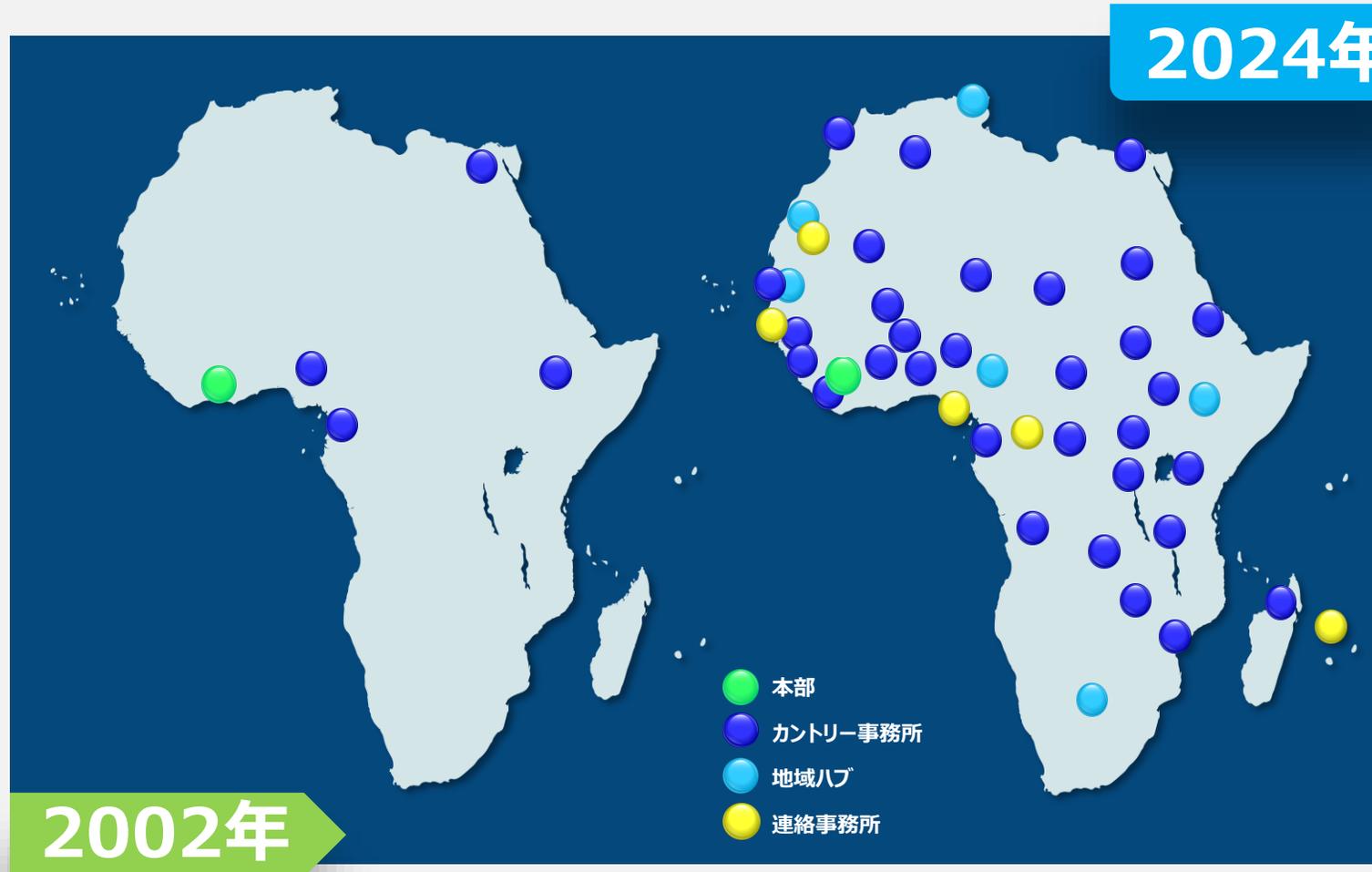
脆弱性とは「内部または外部からの圧力が、それに対する既存の防止・対応・回復能力を超えるリスクがある状態」を指す。

レジリエンスの定義

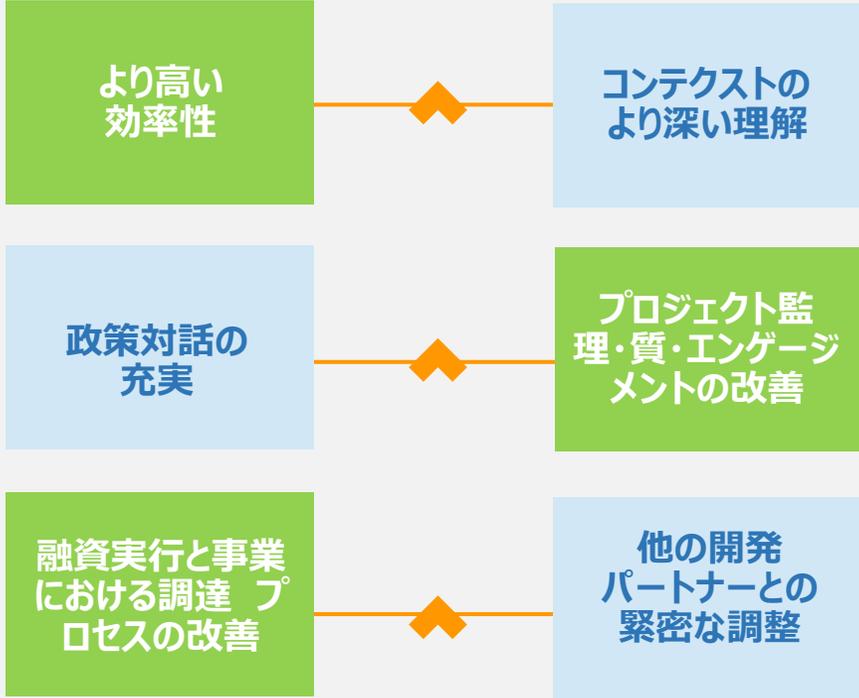
レジリエンスとは「国がショックやストレスに対処・適応してそこから回復し、将来の脆弱性を軽減できる特性」と定義される。



アフリカにおける現場でのプレゼンスは？



各国独自のニーズ特定に理想的な拠点



41か国に確固たるプレゼンス。脆弱国にも拡大。

- AfDB職員の39%がフィールドオフィスに勤務
- プロジェクトの76%をフィールドオフィスから管理

AfDBの統合セーフガードシステムとは？

統合セーフガードシステム（ISS）は、資金源にかかわらず、AfDBが管理する信託基金の支援を受ける事業を含む、公債及びノンソブリン債などAfDBが支援する**全ての**事業に、ライフサイクル全体（特定、準備、査定、交渉、実行、中間レビュー、完了）を通じて適用されるAfDBグループの環境・社会的方針である。

この事業方針とオペレーショナル・セーフガード（OS）は、タイプや資金源にかかわらず、アフリカ開発銀行グループが支援する全ての事業に適用される。

AfDBは事業を通じて、AfDBの規約に適合し、AfDBが許容できる方法及び期間内にOSの要件を満たすと見込まれる事業のみを支援する。

提案された事業による環境又は社会的影響に適切な対応ができない可能性がある場合、そのような事業を進めない判断をする可能性がある。

これには、単独事業として提供されるか、又は事業やプロジェクトの一部として提供されるかにかかわらず、AfDBのあらゆる技術支援活動が含まれる。

AfDBは、支援対象として提案された全ての事業に関して、環境・社会デュー・デリジェンスを実施する。

環境・社会デュー・デリジェンスの目的は、提案された事業の支援を行うかどうか、行う場合は、環境・社会リスク及び影響を事業の開発・査定・実行においてどのように考慮するかに関して、AfDBの決定を助けることである。

AfDBは、アフリカ開発銀行の「情報開示及びアクセスに関する方針」をこの方針に記載されている守秘義務に従って、借主が共有する全ての文書に適用する。

統合セーフガード追跡システム（ISTS）はAfDBのプロジェクト管理システムにリンクしており、プロジェクトのコンプライアンスと実績を直接追跡するために使用される。ISTSは、OSsの要件が適切に満たされた場合に、プロジェクトが準備段階から査定段階へのみ進むことができることを確認するために使用される。このステップは、AfDBのE&Sセーフガードとコンプライアンス部門が検証する。

また、ISTSは、関連するOSの要件が適切に満たされた場合、プロジェクト文書が理事会にのみ提出できることを確認するために使用される。当該プロジェクト文書の査定報告書には、AfDBのE&Sセーフガードとコンプライアンス部門が発行する環境・社会コンプライアンスノート（ESCON）が添付されている。

アフリカ開発銀行グループ統合セーフガードシステム文書

<https://www.afdb.org/en/documents/african-development-bank-groups-integrated-safeguards-system-2023>

ISSとは、ソブリン及びノンソブリンの**全ての**事業にライフサイクル全体を通じて適用される環境・社会的事業方針である

倫理的な事業慣習とは？

- 他の国際開発金融機関（MDBs）と共に2006年に採択した「不正・汚職の防止及び撲滅に関する統一枠組み（Uniform Framework for Preventing and Combating Fraud and Corruption）」。これは国際開発金融機関が融資するプロジェクトの開発効果を上げるために汚職と不正を抑制するための協調戦略である。
- グッド・ガバナンス、倫理的な商慣行の推進、並びにAfDBの事業に適用される汚職防止及び透明性に関する国際基準の承認へのコミットメント。
- 組織の株主に対する受託者責任及び法的責任に基づき、経済、効率性及び競争的取引を考慮して、ソブリン保証を得ずに融資された民間セクターの事業及びその他の事業に関して**インテグリティ・デュー・デリジェンス（IDD）**を策定。

インテグリティ・デュー・デリジェンス(IDD)に関する指針原則

受益所有者の特定：
受益所有者の身元が確認できるまで取引を行わない

民事、刑事及び規制上のバックグラウンドの評価：
インテグリティ・リスク*に関連してカウンターパーティー及び重要な関連当事者の刑事、民事及び規制上の背景を厳密に評価する

制裁措置を受けた個人及び事業体：
カウンターパーティー、重要な関連当事者又はその受益者のいずれかがAfDBグループによって排除もしくは相互排除されているプロジェクト、または国連安全保障理事会によって制裁を受けているプロジェクトには融資しない

重要な公的地位を有する者（PEP: Politically Exposed Persons）及びその他の高いリスクを伴う関係：
プロジェクトにPEPが関与する場合、標準的なIDD措置に加え、より厳格なIDDを実施すること

インテグリティ・リスクの緩和：
IDDプロセスの基本的な目的は、インテグリティ・リスクの特定及び緩和

インテグリティ・リスクの監視及び特別条項の執行：
インテグリティ・リスクの早期警戒の兆候及び同リスクを示す事象を特定するため、プロジェクトサイクルを通して効果的に監視

記録管理：
IDDプロセスに関連する全ての文書及びとられた措置に関する適切かつ信頼性のある記録の保存

* インテグリティ・リスクとは、プロジェクト及び投資判断における非倫理的行為に起因する悪評を含む財務上及び非財務上の損失が生じる可能性。

採取産業透明性イニシアティブとは？

採取産業透明性イニシアティブ（EITI: Extractive Industries Transparency Initiative）は、採取産業において透明性の強化によりガバナンスを促進することを目的とする。石油、ガス、金属及び鉱物などの天然資源は国民の所有物であり、これらの資源の採取は経済成長及び社会発展につながる可能性がある。しかしながら、その不十分な管理のため汚職や紛争を頻繁に招いてきた。国民全てが資源の恩恵を受けるためには、国による天然資源の管理法の開示性向上が求められる。

各国がEITI基準を実施することにより、石油・ガス及び鉱業会社から政府に支払われた租税その他の支払の開示が確保される。これらの支払がEITI年次報告書で開示されることで、国民は自国政府の天然資源収入額を知ることができる。

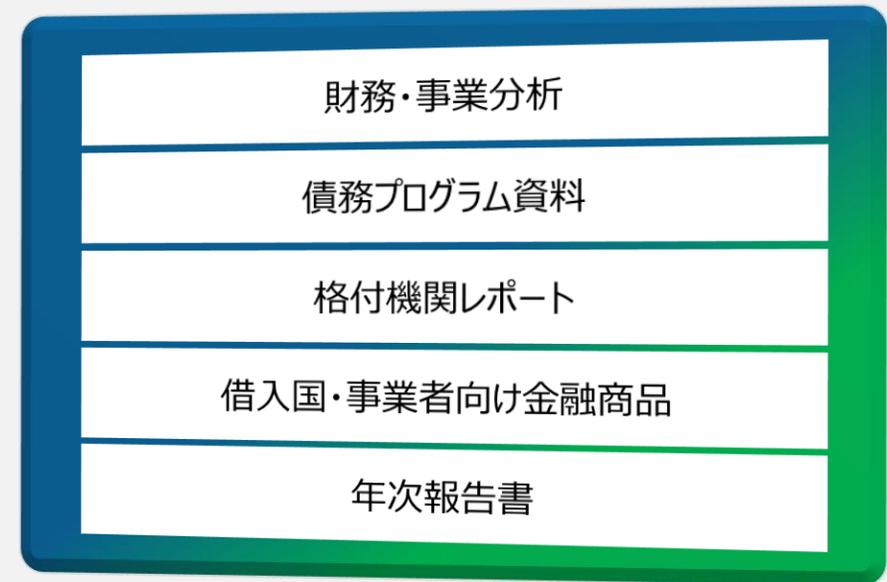
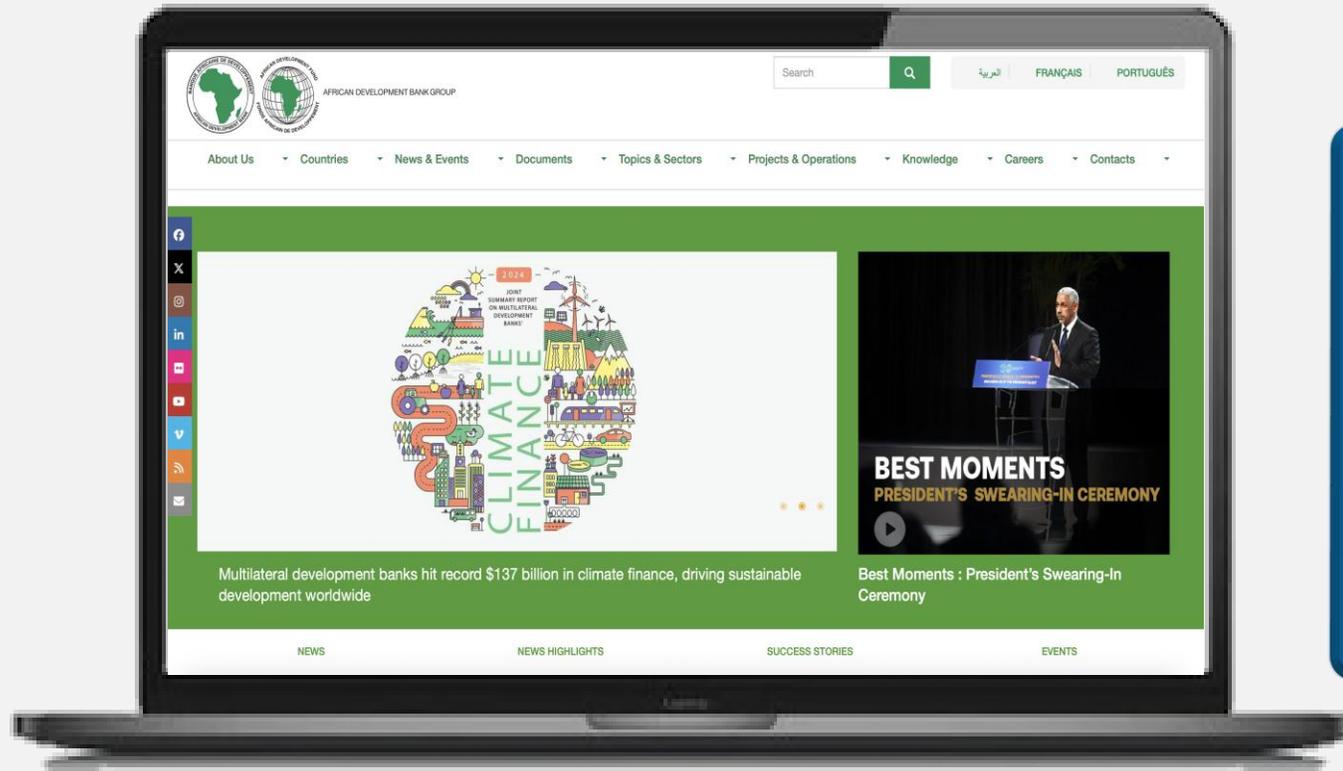
EITIは様々なステークホルダーに多くのメリットをもたらす。EITI実施国にもたらされるメリットとして、政府が透明性の向上に尽力しているという明確なメッセージを投資家や国際金融機関に示すことで投資環境が改善することが挙げられる。EITIはまた、説明責任及びグッド・ガバナンスの強化と政治・経済の安定性向上に資する。これは石油、鉱物及びガスセクターをめぐる紛争の防止にも貢献する。

企業及び投資家にもたらされるメリットは、政治的リスクと評判に関するリスクの緩和が中心となる。不透明なガバナンスによる政治不安は、投資にとって明らかな脅威である。採取産業は投資が資本集約的かつ収益化するには長期的安定が不可欠なため、かかる政治不安を軽減することは事業にとって有益である。政府への支払に関する透明性はまた、投資が国家に貢献していることの実証にも資する。

市民社会にとってのメリットは、政府が国民を代表して管理する歳入に関して公開情報量が増えることにより、政府の説明責任が向上することである。

AfDBはセクター事業にEITI原則を組み込む取り組みを行っている。域内加盟国にEITIプロセスへの参加を促し、適用可能な国に技術的・財政的援助を行うことで、採取産業における慣行の健全化と持続可能な開発のための天然資源の活用とを支援している。現在までに、中央アフリカ共和国、リベリア及びマダガスカルがEITI候補国になることに尽力し、このイニシアティブの順守及び実行に関してリベリア、シエラレオネ、チャド、トーゴ、ギニア及びマダガスカルなど様々なアフリカ諸国を支援している。

アフリカ開発銀行グループに関する詳細情報



FundingDesk@afdb.org



www.afdb.org



[AFDB <GO>](#)



[African Development Bank Group](#)



[African Development Bank Group](#)



[afdb_group](#)

免責事項

この資料は、アフリカ開発銀行（以下、「弊行」）が、情報提供目的で作成したものです。この資料に示された意見は、作成時の弊行の判断を反映したものであり、何らの通知なく変更されることがあります。また、弊行は、いかなる者に対してもこの資料に示された意見・情報が変更される際に通知する義務を負いません。

弊行は、この資料に含まれる情報の正確性、完全性に関しても、明示または黙示のいかなる表明、保証、確約を行うものではありません。この資料は、弊行の有価証券の販売または勧誘を目的としたものではありません。個々の投資家の特定の投資目的、財務状況、ニーズを考慮に入れたものではありません。この資料で言及されている投資額、評価額は変動することがあります。過去の実績は将来の成果を導くものではなく、また、将来のリターンは保証されているものではありません。本資料を利用することにより生じたまたは被ったと主張する、いかなる損失、損害、債務または費用等（無制限の直接、間接、特殊なまたは重大な損害を含む）に対して、たとえ弊行がその可能性を通知されていたとしても、弊行は一切責任を負いません。

この資料をご覧になる皆様は、この資料の権利が弊行に帰属することを承認されたものとみなします。この資料の全てのコンテンツ（図、アイコン、資料の全体の概観及び内容を含みますが、これに限るものではありません）は弊行に帰属します。弊行は著作権、商標およびその他の知的財産権を含むいかなる権利も放棄いたしません。